

# 2021年3月期 通期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競合状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

1. 2021年3月期 決算ハイライト
2. 成長戦略
3. 2022年3月期 業績予想

# 2021年3月期 決算ハイライト

.....

# 2017年度から〇〇×ITへの積極的投資期間とし、 2021年3月期を利益計上期と位置づけ

## 中期経営方針

### 〇〇×IT戦略に対する投資計画

おおむね順調に進捗  
更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得  
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

#### 研究開発投資推移イメージ



2018年3月期決算説明会資料より

## 創業来**21期連続**となる **過去最高売上高**を達成

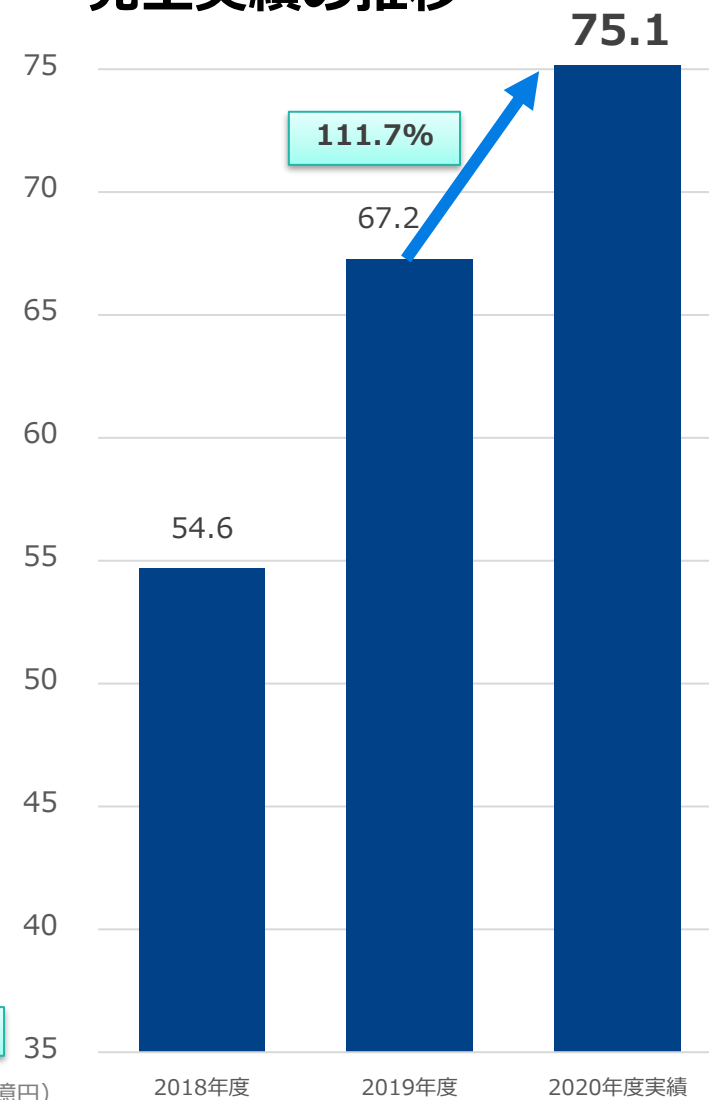
新型コロナウイルス影響下においてテレワーク需要による管理端末数の増加やそれに伴うサポート需要を取り込むことが出来たことにより、Optimal BizやOptimal Remote等のライセンス売上を中心としたストック売上が前年比120%以上の成長と好調に推移しました。

一方、OPTiM Cloud IoT OSに関連する新規サービスは、新型コロナウイルスの影響を受け、一部のライセンス・カスタマイズ<sup>(※)</sup>の進捗が遅延し、影響は残しつつも、一定の回復を得ることができました。

その結果、期初売上計画（74.1-80億円）通り  
**75.1億円（前年比111.7%）**  
となっております。

※ライセンス・カスタマイズ…当社研究開発部分をライセンスとし、それをもとにしたカスタマイズ開発のこと。将来のライセンス発行につながる開発となります。

### 売上実績の推移



2018年度は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

## 経常利益の実績推移

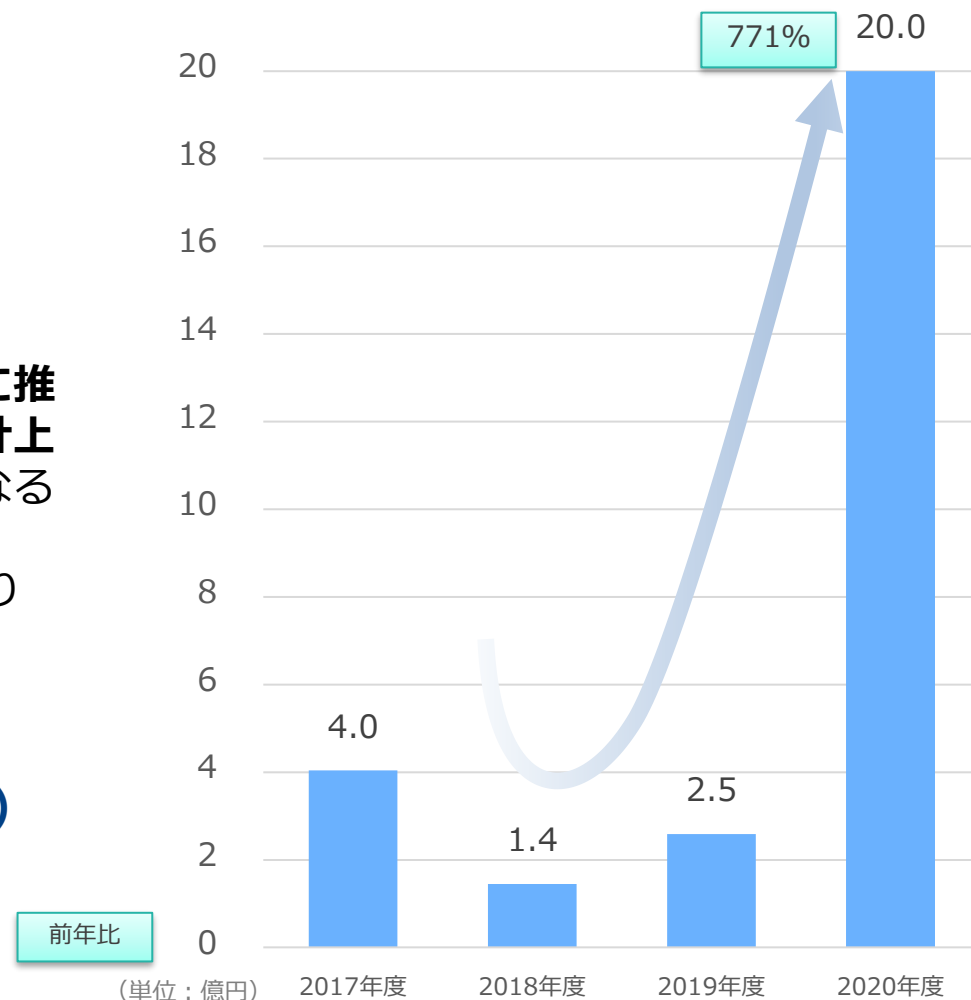
利益回収期と位置付けた今期は  
期初計画上限値を**24%**上振れし  
**過去最高益**を達成

コロナ禍の影響を受けてライセンス売上が好調に推移したこと、主要サービスのソフトウェア資産計上を開始したこと等の理由により、過去最高益となる大幅増益となりました。

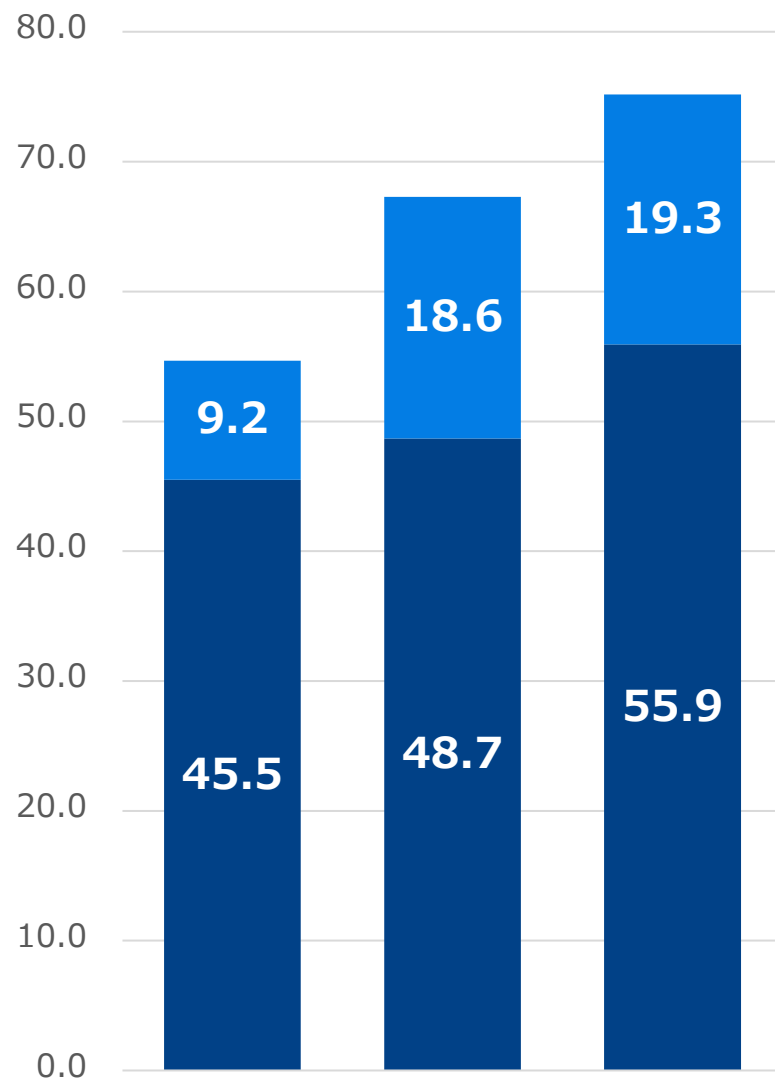
期初経常利益計画（8-16.1億円）を大きく上回り

**営業利益は、18.0億円（前年比703.8%）**  
**経常利益は、20.0億円（前年比771.0%）**  
**純利益は、12.3億円（前年比1055.8%）**

となっております。



# 過去3年度の全体売上、ライセンス・カスタマイズ売上実績推移



Optimal Bizを中心とした  
ライセンス売上も  
好調に推移

(単位：億円) 2018年度 2019年度 2020年度

## 主要販売パートナー

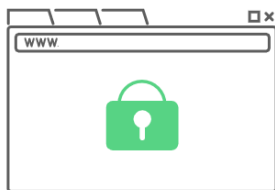


「Optimal Biz」は、**販売パートナーを通じての提供**や、**OEM提供による販売パートナーのサービスとして提供**されており、当社グループは端末数に応じたライセンス料を受領しております。当社グループでは、OEM提供の際は、販売パートナーの要望に応じたカスタマイズも行っております。

1 端末エンドユーザー標準価格：300円/月

## オプション・サービス

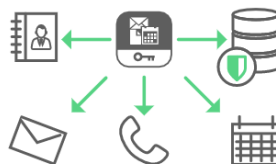
Optimal Biz Web Filtering  
powered by i-Filter



Optimal Biz Antivirus  
ウイルス対策オプション

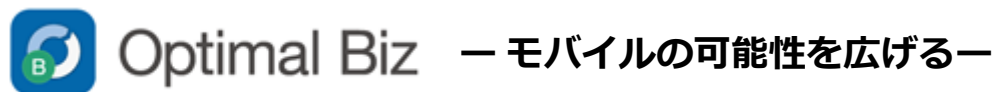


Optimal Biz Secure Sync  
リモートアクセスサービス

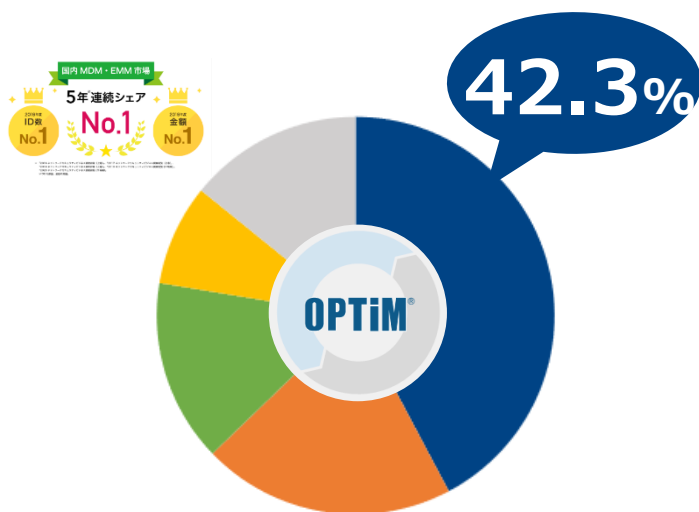


「Optimal Biz」は、ウェブフィルタリングや、ウイルス対策、MAM、MCM等、さまざまな機能を**オプションとして提供**しており、導入企業は必要とする機能のみのライセンス料を支払うことで、選択して導入することができます。





国内シェア **No.1**※1



平均解約率約 **0.5%** ※3

累計**18万社**以上※2の圧倒的な導入実績

※1 ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」SaaS・ASP型MDM出荷ID数、富士キメラ総研「2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧《市場編》」モバイルセキュリティ管理ツール」他複数の調査レポート

※2 2019年6月25日、当社集計

※3 主要パートナー実績をもとに当社算出。集計期間（2019年5月-2021年3月）

OPTiMのAIソリューションが5部門で市場シェアNo.1獲得 ※1



**OPTiM® AI Camera**



**OPTiM® AI Camera Enterprise**



**Agri Field Manager**



**OPTiM Cloud IoT OS**

※1 デロイト トーマツ ミック経済研究所「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2020年度版】」

# “〇〇×IT”を推進するグループ企業を構築

OPTiM®

オプティムグループ

OPTiM®

株式会社オプティム

## 連結子会社



株式会社オプティム  
アグリ・みちのく

(オプティム95%:みちのく銀行5%)

OPTiM® みちのく銀行

- スマート農業ソリューションを活用し生産者と連携した農作物の生産と販売

New !



OPTiM Bank Technologies

オプティムバンク  
テクノロジーズ株式会社  
(オプティム95%:佐賀銀行5%)

OPTiM® 佐賀銀行

- 地銀DX、地域DXの推進
- DXファンド

New !



D'PULA Medical Solutions Corporation

ディピューラメディカル  
ソリューションズ株式会社

sysmex OPTiM®

- 医療IoTソリューションの提供

New !



NTT  
e-DroneTechnology

株式会社NTT e-Drone  
Technology

NTT 東日本 OPTiM® WorldLink & Company

- 各産業における国産ドローンサービスの利用を推進

New !



株式会社ランドログ  
マーケティング  
(オプティム100%)

- スマートコンストラクション・レトロフィットキット販売
- 建設向けDXソリューションのマーケティングを実施

New !

YURASCOPE

株式会社ユラスコア  
(オプティム100%)

- マーケティングDXサービスの開発・提供

New !

DXGoGo

DXGoGo株式会社

KDDI OPTiM®

- AIとIoT活用の商品企画で企業のDXを支援

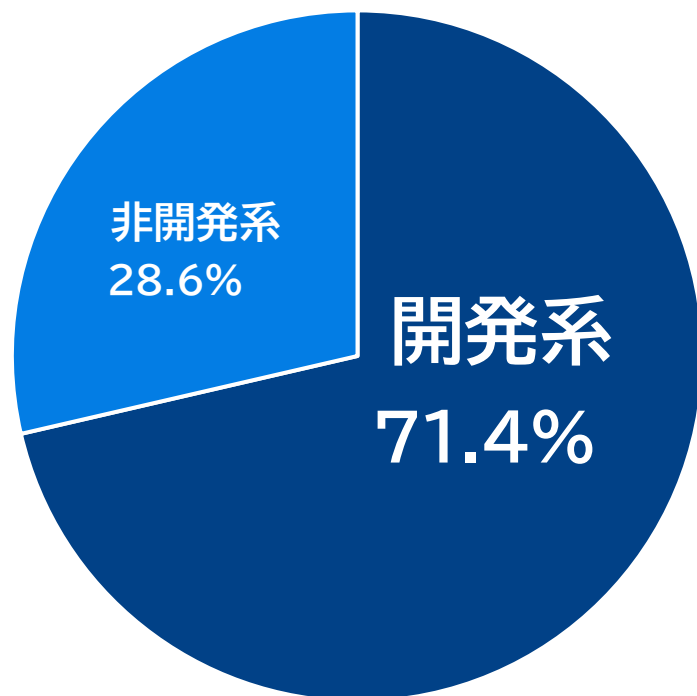
## ファンド

デジタルトランスフォーメーション  
ファンド投資事業有限責任組合第1号

無限責任組合員 (GP) :  
株式会社佐銀キャピタル&コンサルティング  
オプティム・バンクテクノロジーズ株式会社  
有限責任組合員 (LP) :  
株式会社佐賀銀行  
株式会社オプティム

※Newの記載は2020年度設立

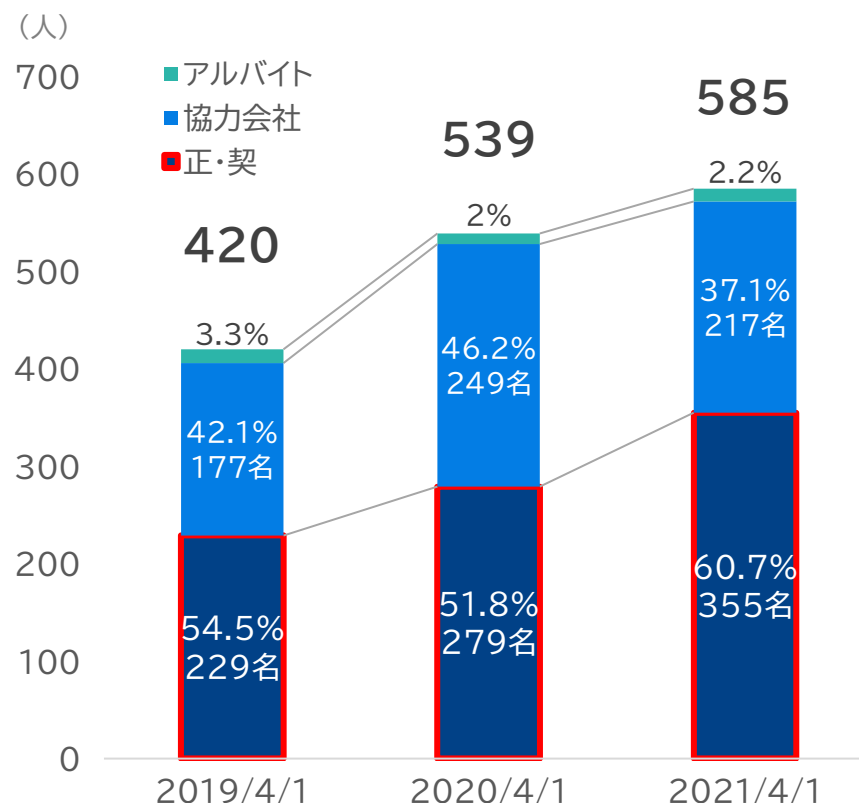
## サービス・製品開発人員比率



※ 2021年4月1日、当社集計

サービス・製品開発に直接かかる人員比率が  
71.4%を占める

## 正スタッフ比率推移



正スタッフ比率は60.7%であり、上昇傾向にある

当社エンジニアによるブログやセミナー形式での技術情報の発信活動も積極的に実施しております。  
ご興味ありましたら、ぜひフォローのほどよろしくお願いいたします。



## 当社を支えるさまざまな技術情報を エンジニア達が毎週更新中！

掲載内容(一例): Deep Learning、エッジコンピューティング、IoT、等

2018年12月より開始  
累計記事数: 172本  
執筆者数: 49人  
Blog開始以来、週1ペースで発信中

<https://tech-blog.optim.co.jp/>



## 当社エンジニア主催のセミナー型の技術 情報発信・交流の場

トークテーマ(一例): AI・IoT、スクラム開発、PM、SRE/クラウドインフラ、等

2019年10月より開始  
月1ペースで累計15回実施  
累計参加者数: 741人  
現在は完全オンラインで実施中

<https://optim.connpass.com/>

# 連結業績サマリー

(単位億円)	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
<b>売上高</b>	<b>54.6</b>	<b>67.2</b>	<b>75.1</b>	111.7%
IoTプラットフォームサービス	39.8	53.4	61.3	114.9%
リモートマネージメントサービス	7.7	7.5	7.9	104.8%
サポートサービス	1.5	1.4	1.3	89.6%
その他サービス	5.4	4.8	4.5	94.6%
<b>売上原価</b>	<b>19.6</b>	<b>26.2</b>	<b>29.4</b>	112.2%
<b>売上総利益</b>	<b>35.0</b>	<b>41.0</b>	<b>45.7</b>	111.4%
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>34.0</b>	<b>38.4</b>	<b>27.6</b>	71.9%
<b>営業利益</b>	<b>0.9</b>	<b>2.5</b>	<b>18.0</b>	703.8%
<b>経常利益</b>	<b>1.4</b>	<b>2.5</b>	<b>20.0</b>	771.0%
<b>当期純利益</b>	<b>0.1</b>	<b>1.1</b>	<b>12.3</b>	1,055.8%

当連結会計年度の経営成績は、  
売上高75.1億円、営業利益18.0億円、経常利益20.0億円、  
親会社株主に帰属する当期純利益12.3億円となりました。

# 成長戦略

---

# 〇〇×IT構想の更なる推進にむけて

中期経営テーマ

OPTiM®

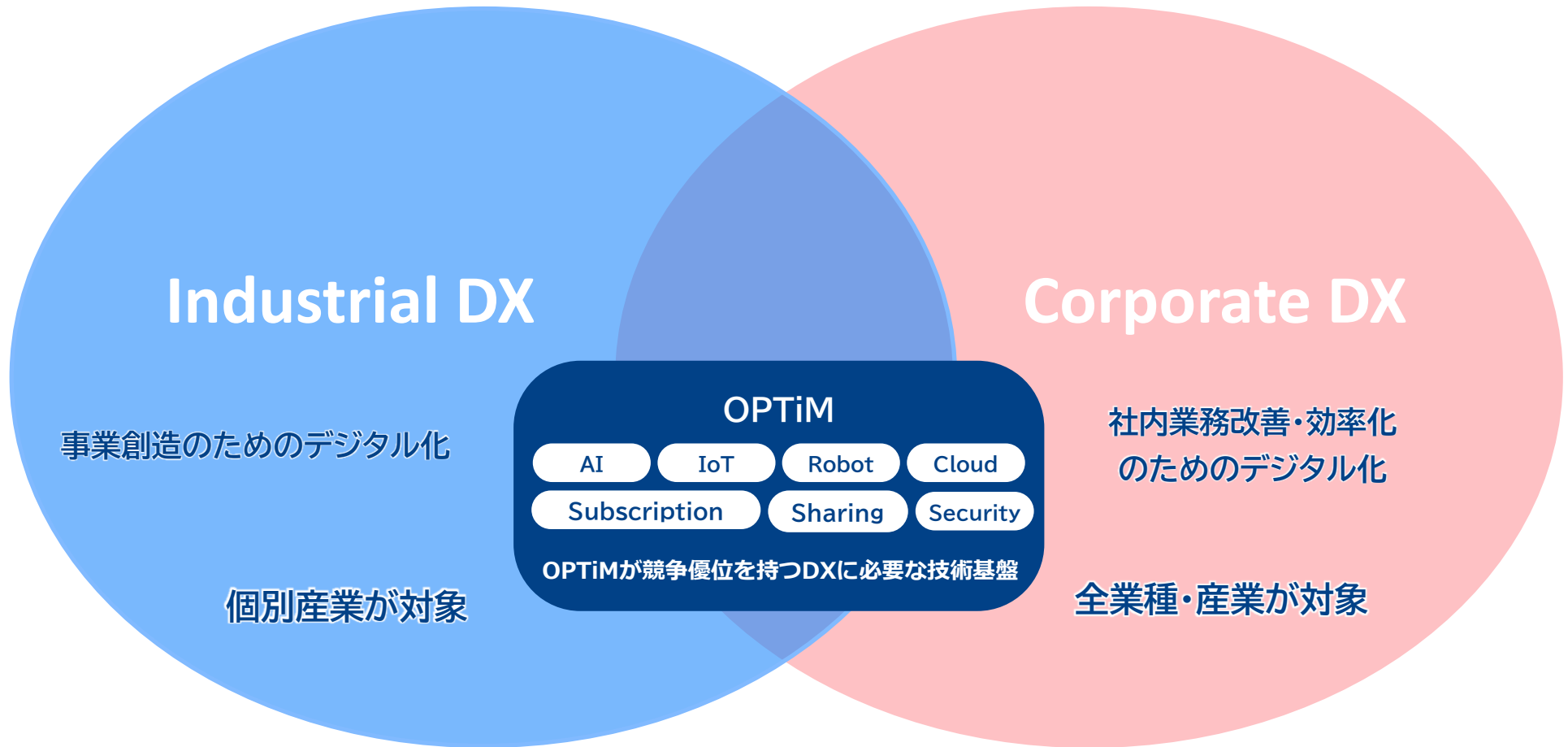


各産業とIT（AI・IoTなど）を組み合わせる  
「〇〇×IT」により  
全ての産業を第4次産業革命型産業へと  
再発明してまいります

2021年3月期第二四半期決算説明会資料より



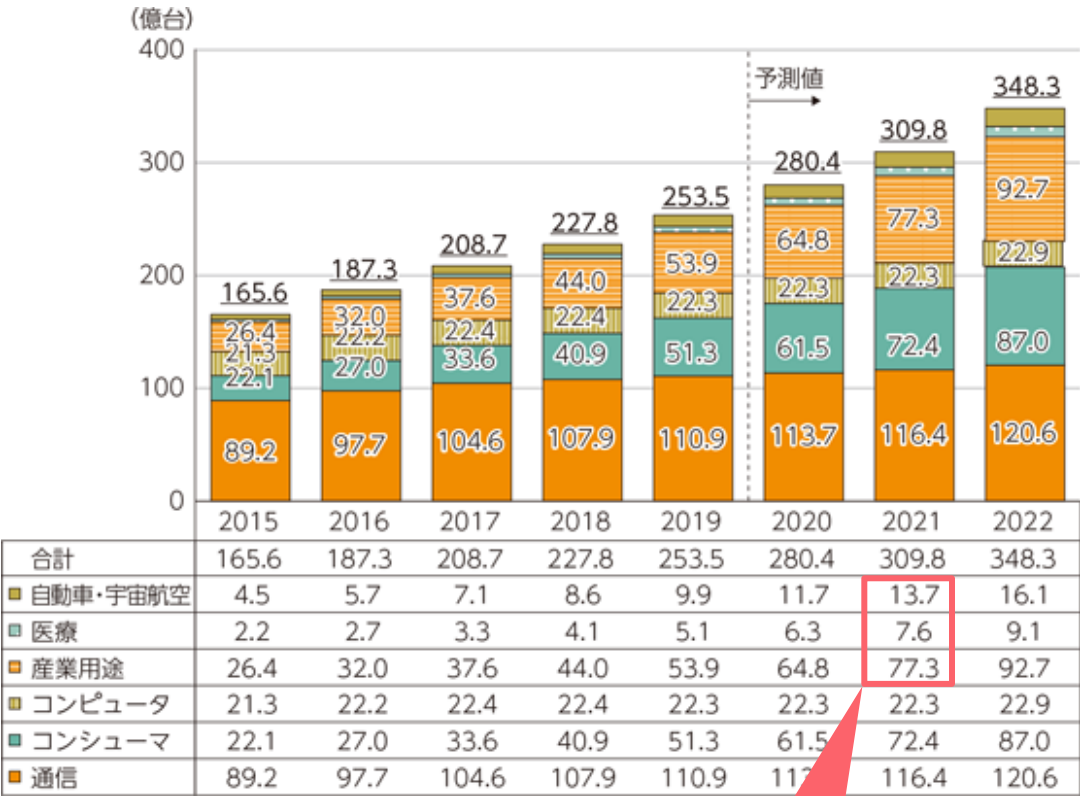
# 2つのDX



コロナ禍により、特性の異なる2つの**DX**が大きく発展

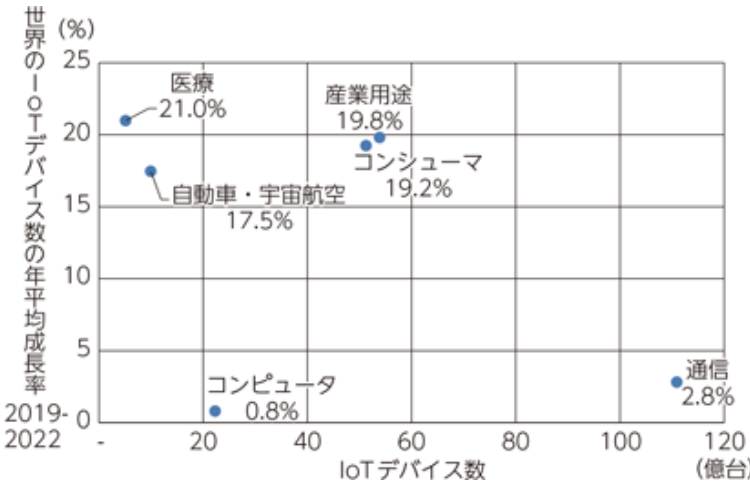
# Industrial DX戦略： IoT市場は今後も成長続き、その中心が産業用途に

世界のIoTデバイス数の推移及び予測



出典：令和2年 情報通信白書

産業関連用途で  
約100億台に



# 〇〇×IT戦略の推進により、OPTiMのAI/IoTプラットフォームへの 接続デバイス、産業向けキラーサービスが飛躍的に増加

**OPTiM®**

## Industrial DX

### 産業共通

PC・スマホ・タブレット カメラ



### 建設

建機・ダンプトラック



### 医療

手術ロボット



### 農業・IoT

ドローン・センサ等



### ロボット

各種検査ロボ



### 更なる

### 〇〇×ITを推進

450億台になるさまざまな  
業界・ハードウェアへ展開



## OPTiM Cloud IoT OS

ID管理・デバイス管理・遠隔制御・クラウド管理・セキュリティ・エコシステム運用・課金管理

## AIサービス

OPTiM  
IoT

AI Camera

OPTiM  
GeoScan

MINS

農業DX  
サービス

ロボットDX  
サービス

...

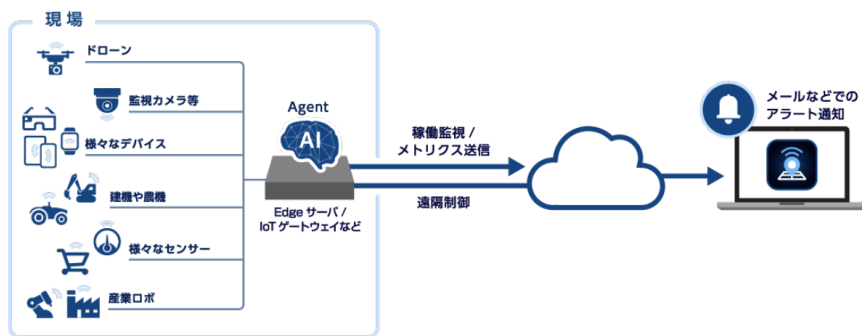
次々に  
新サービス投入予定

産業向けサービス

今後も、更なる〇〇×ITの推進によるデバイスカバレッジ、産業用キラーサービス開発を推進  
全世界450億台のデバイスへの接続と産業用キラーサービス提供を目指す

## 機器・装置の力を最大化、 クラウド機器管理サービス **OPTiM IoT**

「OPTiM IoT」は、あらゆる機器や装置をクラウドから管理・運用するサービスです。「OPTiM IoT」を導入することにより、管理している機器や装置の稼働最適化、ダウンタイムの最小化や保守コストの削減を支援いたします。これにより、機器・装置の生産性を最大限に引き出すことができます。

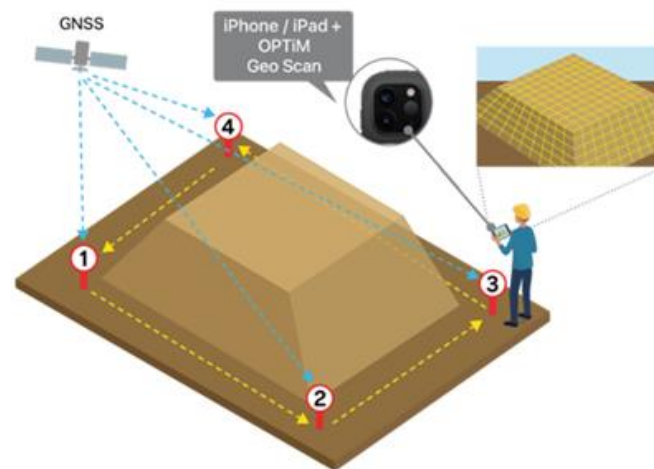


1デバイス**1,000円/月**～

## スマホ・タブレットで対象をスキャンするだけ かんたんLiDAR3次元測量アプリ **OPTiM Geo Scan**

「OPTiM Geo Scan」は、LiDARセンサーと高精度位置情報を組み合わせることで、高精度な測量を手軽に行える測量アプリです。

通常は熟練の技術者が必要な測量作業を、  
誰でも一人で簡単に行うことが可能になります。



**972,000円/年**～

※3現場まで同時利用可能

# Industrial DX戦略：農業

OPTiM®

## これまでの取り組み

消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立  
単一作物で国内最大市場を持つ“米”で  
栽培から加工、販売（EC）までを一気通貫で提供



弊社が生産者提携し栽培、販売を実現する“スマート米”において消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立

農業とITの未来メディア「SMART AGRI」を運営  
弊社が主体で発足させたスマート農業アライアンスに生産者を中心に2,000の団体が参加。協業し農業全体のDX化を進める

農林水産省、各自治体、生産者と先進的共同研究を数多く実施

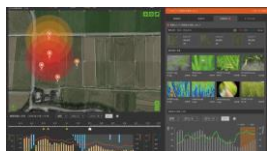
農業・食品産業全体の効率化と付加価値向上を目指した  
独創的なDX（AI・IoT）サービスを開発



ドローンを使ったピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー（世界初・特許取得）を提供



ドローンを使った播種テクノロジーを提供



圃場をAI・IoTで画像・センサ解析するサービス“Agri Field Manager”を提供



グライダー型ドローンを使った広域圃場管理システムを提供

## 今後の展開

米産業全体のDX化

”スマート米“栽培・販売を通じてノウハウを確立した“米”において栽培から加工、流通、販売、全体を見据えたDXサービスを提供する



※出典：矢野経済研究所「2020年版 コメビジネス・米飯市場の実態と将来展望」  
米飯市場の市場規模推移より

TAM  
約  
2.3

兆円※

農業DXサービスの販売拡大

実用化段階入った栽培の効率化、付加価値化を行うためのDXサービスを数多くをさまざまなチャネルから提供していく



TAM  
約  
3,885  
億円※

※『2030年のフード&アグリテック』（NAPA編）の市場規模予測値から「次世代ファーム」「農業ロボット」「生産プラットフォーム」の部分を引用して算出



## これまでの取り組み

手術支援ロボットシステム「hinotori™」サージカルロボットシステム」用  
ネットワークサポートシステム「MINS※」を共同開発

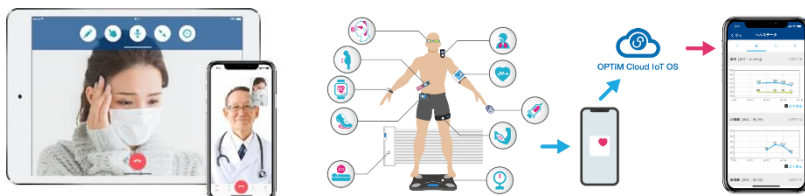


MINS※により実現されること：「hinotori™の稼働状態やエラー情報のリアルタイム収集」「手術室映像のライブ配信及び閲覧」「デジタルツインによる稼働状態の三次元再現」など

※Medicaroid Intelligent Network System

## オンライン診療プラットフォーム

- ・2016年2月「オンライン診療ポケットドクター」を発表
- ・2020年2月～9月「ポケットドクター」を医療機関に無償提供し、新型コロナウイルス感染症対策に貢献
- ・2020年4月 オンライン診療プラットフォームのOEM提供を発表



## 今後の展開

### 手術室向けDXサービスとして販売拡大

- ・hinotori™出荷拡大※に伴い、MINSを順次導入  
※日本での事業基盤確立(24.3月期:100億円)  
(シスメックス株式会社 2021年3月期 決算説明会より)
- ・手術室向けDXサービスの共同開発と展開
  - ・hinotori™本体の競争力拡大
  - ・手術室関連の新規ビジネス創出

### コロナ渦でニーズが高まる分野へ応用

オンライン診療プラットフォームを関連サービスに広く展開

TAM  
約 **1,500**  
億円

オンライン診療サービス、オンライン服薬指導、保健指導等企業健保向けオンラインサービスなどの合算値

※1 2024年推定値。調査会社シード・プランニング「オンライン診療サービスの現状と将来の市場に関する調査の結果（2020年7月）」より

※2 全国の総処方箋枚数、約8億枚（厚生労働省「平成30年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」より）に服薬指導単価430円を掛け合わせ、さらにそのうち1割がオンライン化すると想定した場合

※3 50人以上の従業員がいる事業所数、約16.4万施設（平成22年労働安全衛生基本調査、平成26年経済センサス（一部推計含む。））に対して、5万円/月/施設で試算

## これまでの取り組み

### LANDLOG推進 with コマツ

SC Edge(現場)



SC Fleetデバイス  
(ダンプカーなど)



SCレトロフィットキット  
(油圧ショベル)



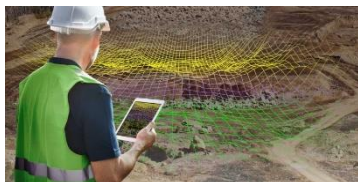
- ・コマツ社が主導するLANDLOGを通じてOPTiM Cloud IoT OSを提供
- ・ショベルカー、ダンプカー、ドローン、各種エッジデバイスなどのデバイスを管理・解析
- ・55社がアプリケーションを提供

### LANDLOG Marketing設立

- ・ランドログの普及支援、および、OPTiMの建築・土木ソリューション展開のため、ランドログマーケティング(LLM)を設立
- ・パートナー網として、販売店：10社、サポート店：2社を確立
- ・コマツ社のレトロフィットサービスを展開



### 建設・土木向けDXサービス開発



九州最大級ゼネコン松尾建設社とiPhoneを使った3D測量サービス“OPTiM Geo Scan”共同開発・提供開始

## 今後の展開

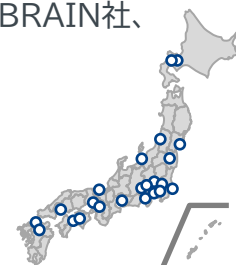
### LANDLOG推進 with EARTHRAIN

- ・新たにEARTHRAIN社が事業開始予定(2021年7月)
- ・コマツ社等より4/30にプレスリリース
- ・EARTHRAIN社とともに、引き続きOPTiM Cloud IoT OS提供を通じたLANDLOGの事業・開発推進

### LANDLOG Marketing発展

- ・ランドログマーケティングを通じた、EARTHRAIN社、LANDLOGサービスとの事業協業、普及支援
- ・全国の販売チャネル確立
- ・エリアカバレッジ100%※を目指す

※ 販売、および2時間以内の現地サポート体制



### 建設・土木向けキラーDXサービスの販売拡大

- ・OPTiM Geo Scanを中心とした建築・土木DXサービスの開発と展開
- ・LLMのチャネルを中心に、ターゲットとなる建設関連会社36万社※に提供

※ 土木工事で元請けができる会社建設会社130万社から企業規模などを鑑みて算出

**TAM**  
**3,600**  
億円

# 新たな産業領域への取り組み

OPTiM®

## 各産業における国産ドローンサービスの利用を推進すべく、 NTT e-Drone Technologyを設立

農業向け機体

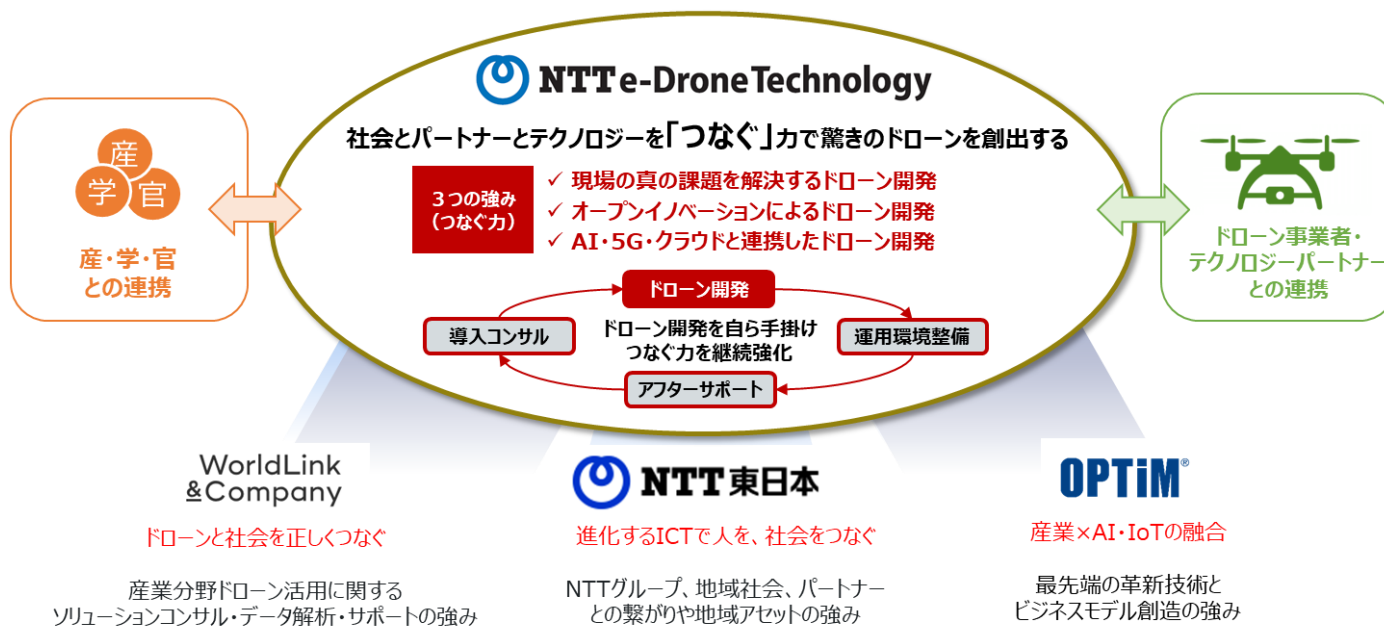


産業向け機体



- ・農業分野を起点に、点検、測量、公共などへの他分野に展開を行う
- ・国産、軽量、省電力を強みとした、機体開発に加え、オプティムがもつAI、IoTのソフトウェアサービスを融合させた事業展開を図る

国内ドローン市場  
TAM  
**6,400**  
億円 ※



※出典：インプレス総合研究所「ドローンビジネス調査報告書2020」  
国内のドローンビジネス市場規模の予測より

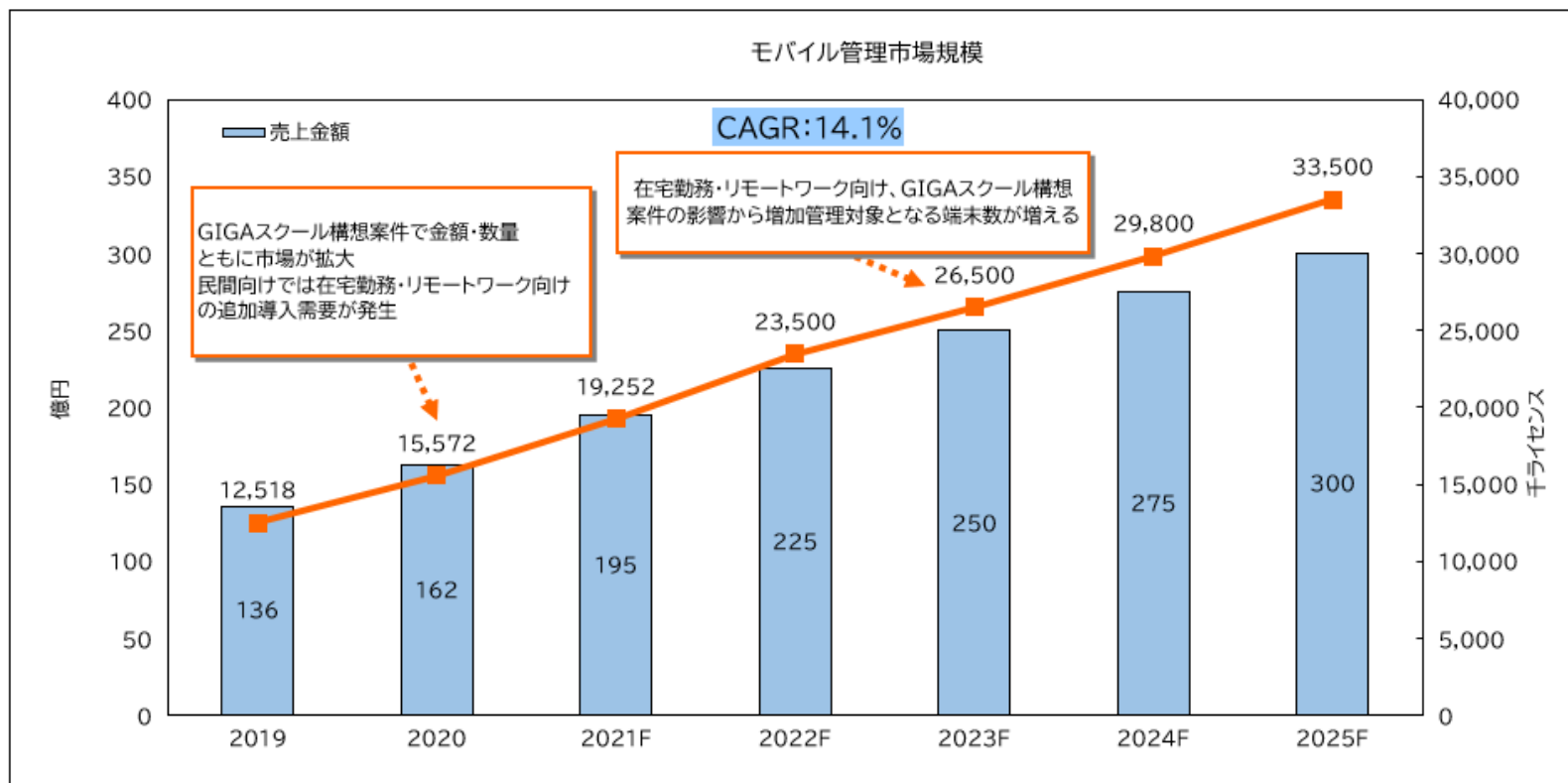


**コロナ禍により、  
Corporate DX（オフィス業務のデジタル化）による  
リモートワーク、業務効率化、コスト削減  
ニーズが急拡大**

# オフィス業務のデジタル化でより高度なセキュリティの運用を求められる時代に Optimal Biz (MDM) 市場の成長続く

MDM（モバイルデバイスマネジメント）市場は、今後も、堅調な成長が見込まれている。※1  
**オプティムは 市場の30%~40%のシェア**を占めデファクトスタンダードを獲得している。

モバイル管理市場トレンド



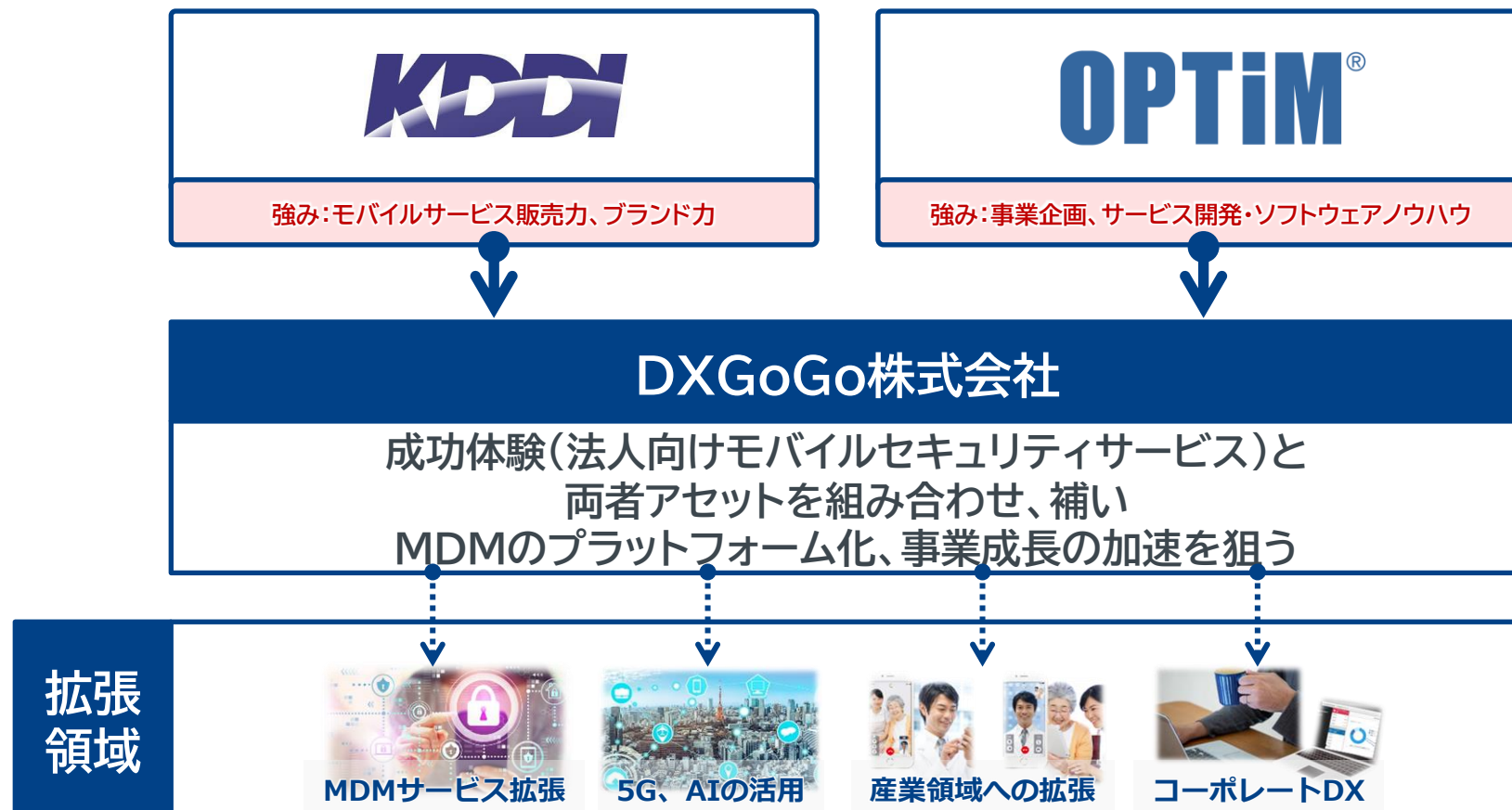
※1 テクノ・システム・リサーチ、2021年3月発刊、「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」



# DX戦略の更なる強化を目指しKDDIと合併会社を設立

OPTiM®

5G・AI時代を見据えMDM（法人向けモバイルセキュリティサービス）分野の戦略的拡販、Corporate DXの強化、Industrial DXの拡大を目的とした新会社を設立



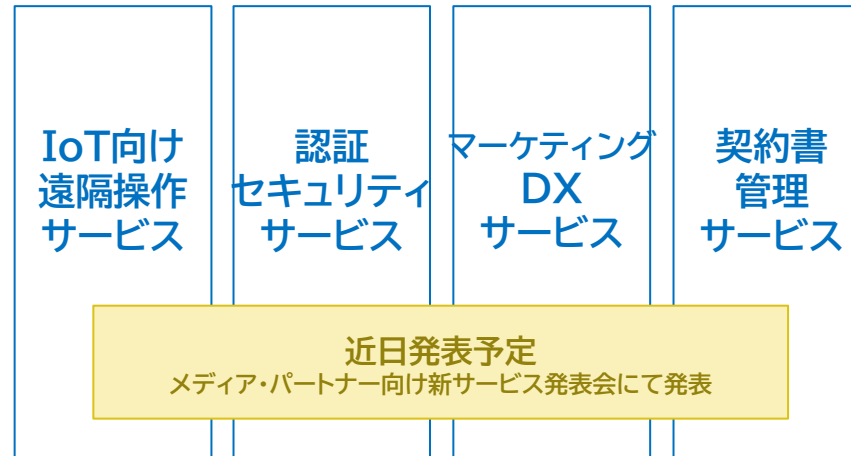
# Optimal Bizの圧倒的な顧客基盤、パートナー網を活用した 約18万社へのCorporate DX新サービスの展開

## これまでの提供価値



+

## 新たな提供価値



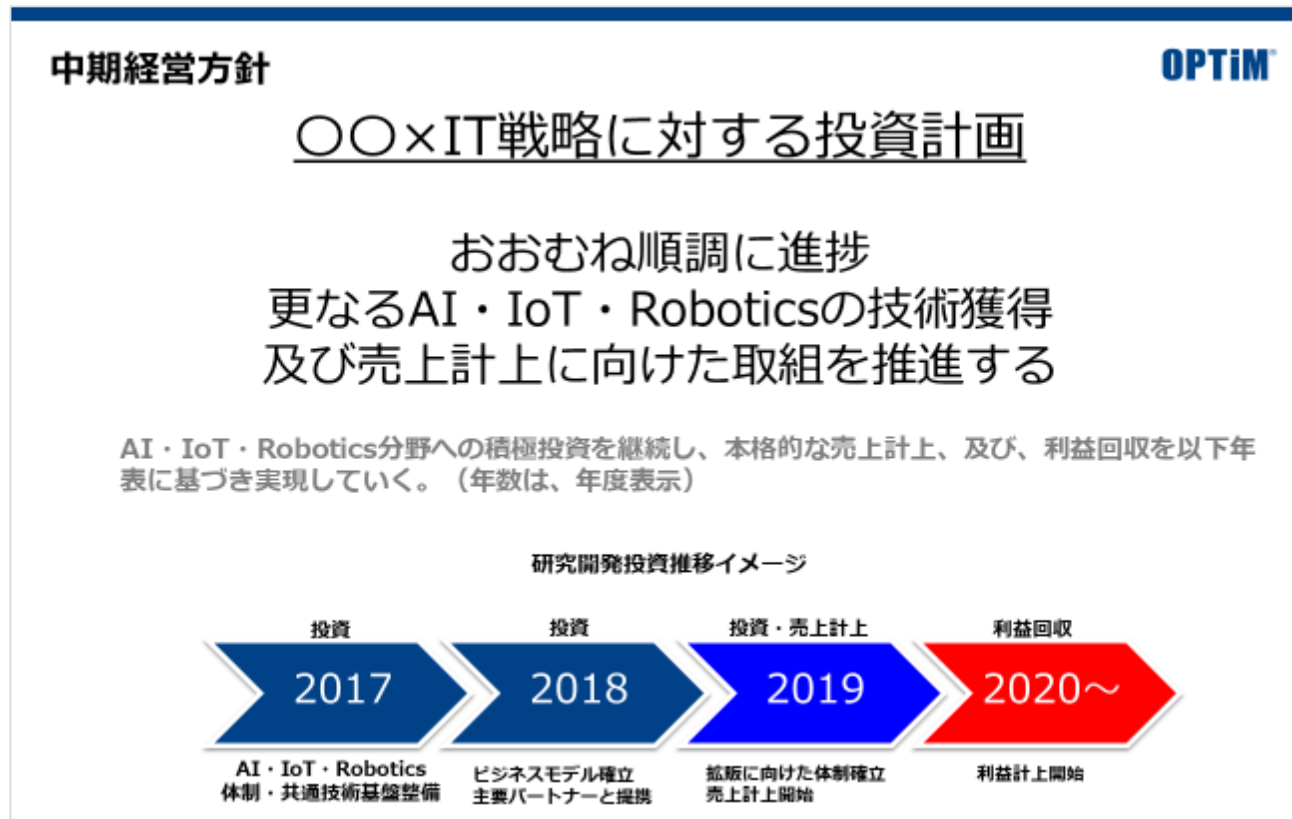
...  
次々に  
新サービス投入予定

## Corporate DX プラットフォーム

約18万社の  
圧倒的な顧客基盤

...  
更なる顧客に拡大

# “第4次産業革命の中心的企業になる”見通しを持った4年間 2017-2020



2018年3月期決算説明会資料より



ITとしてOPTiMが定義しているもの

AI ・ IoT ・ Robot ・ Cloud (Big Data) ・  
Subscription ・ Sharing ・ Security

# エンジニアリング強化に向け、さらなる優秀な人材を獲得

当社の競争力の源泉である社内のエンジニア数は直近3年間で2倍以上に増加しております。



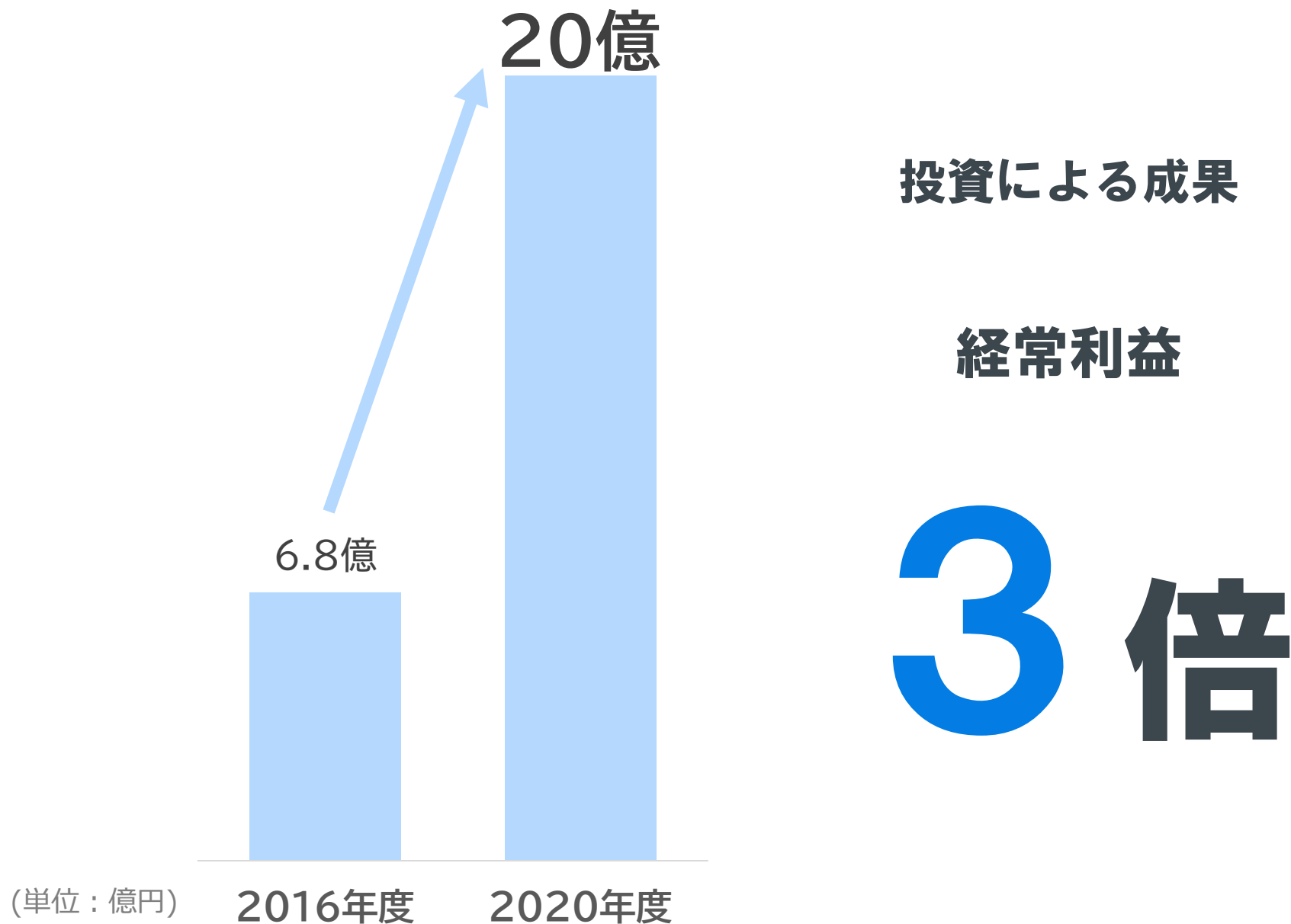
時点	エンジニア数 (人)	正・契約 スタッフ数 (人)	割合
2018年4月	101	183	55.2%
2019年4月	117	229	51.1%
2020年4月	161	279	57.7%
2021年4月	215	355	60.6%

※社内エンジニア数:開発部署配属の正・契約スタッフの合計値を使用しております

## 日本経済新聞社が作成した「初任給ランキング2021」に、当社がランクイン

日本経済新聞社がまとめた「新規学卒者採用計画調査」の結果に基づいて作成した「初任給ランキング2021」にて、当社のエンジニア職の新卒初任給が総合13位（業界別では8位）にランクインしました。





450億台×300円/月<sup>※3</sup> = TAM約 **160兆円**

現時点における当該市場へのオプティムのサービスとTAMの一覧

	農業	医療	建設	全産業共通
Industrial DX	<b>農業DXサービス</b> TAM <sup>※1</sup> 約3,900億円	<b>オンライン診療</b> TAM <sup>※1</sup> 約1,500億円	<b>OPTiM Geo Scan</b> TAM <sup>※1</sup> 約3,600億円	<b>OPTiM AI Camera</b> TAM <sup>※1</sup> 約7,000億円
	<b>米産業DXサービス</b> TAM <sup>※1</sup> 約2.3兆円			<b>OPTiM IoT</b> TAM <sup>※1</sup> 約50兆円
Corporate DX	<b>Optimal Biz</b> TAM <sup>※1</sup> 約1,900億円	<b>【New】IoTむけ遠隔操作サービス</b> 発表予定 <sup>※2</sup>	<b>【New】認証セキュリティサービス</b> 発表予定 <sup>※2</sup>	<b>【New】マーケティングDXサービス</b> 発表予定 <sup>※2</sup>
		<b>Optimal Remote</b> TAM <sup>※1</sup> 約5,000億円	<b>Optimal Remote Web</b> TAM <sup>※1</sup> 約5,000億円	<b>【New】契約書管理サービス</b> 発表予定 <sup>※2</sup>

※3 デバイスあたり平均月額単価300円、年間単価3,600円のOptimal Bizの価格体系をベースに算出

※1 TAM: Total Addressable Market、各算出根拠は次ページに記載

※2 近日発表予定

- ❑ 農業DXサービス：「2030年のフード&アグリテック」（NAPA編）の市場規模予測値より算出
- ❑ 米産業DX：矢野経済研究所「2020年版 コメビジネス・米飯市場の実態と将来展望」米飯市場の市場規模推移より
- ❑ オンライン診療：オンライン診療サービス※1、オンライン服薬指導※2、保健指導等企業健保向けオンラインサービス※3のTAMを合算
  - ・ ※1 シード・プランニング「オンライン診療サービスの現状と将来の市場に関する調査の結果（2020年7月）」より算出
  - ・ ※2 全国の総処方箋枚数、約8億枚（厚生労働省「平成 30 年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」より）および、服薬指導単価から独自に算出
  - ・ ※3 50人以上の従業員がいる事業所数、およびサービス単価より独自に算出
- ❑ OPTiM Geo Scan：土木工事で元請け建設会社130万社から、ターゲットとなる企業規模、サービス単価を鑑みて独自に算出
- ❑ OPTiM AI Camera：監視カメラ市場、出荷台数予測、および、サービス単価から独自に算出
- ❑ OPTiM IoT：グローバルの産業用機器市場規模よりハードウェアの保守メンテナンス市場を独自に算出
- ❑ Optimal Biz：日本の就労者人口およびオフィスワーカー数、モバイル機器の出荷台数等、および、サービス単価から独自に算出
- ❑ Optimal Remote/ Optimal Remote Web：矢野経済研究所「2020 コールセンター市場総覧 ～サービス&ソリューション～」のコンタクトセンターソリューション市場より算出

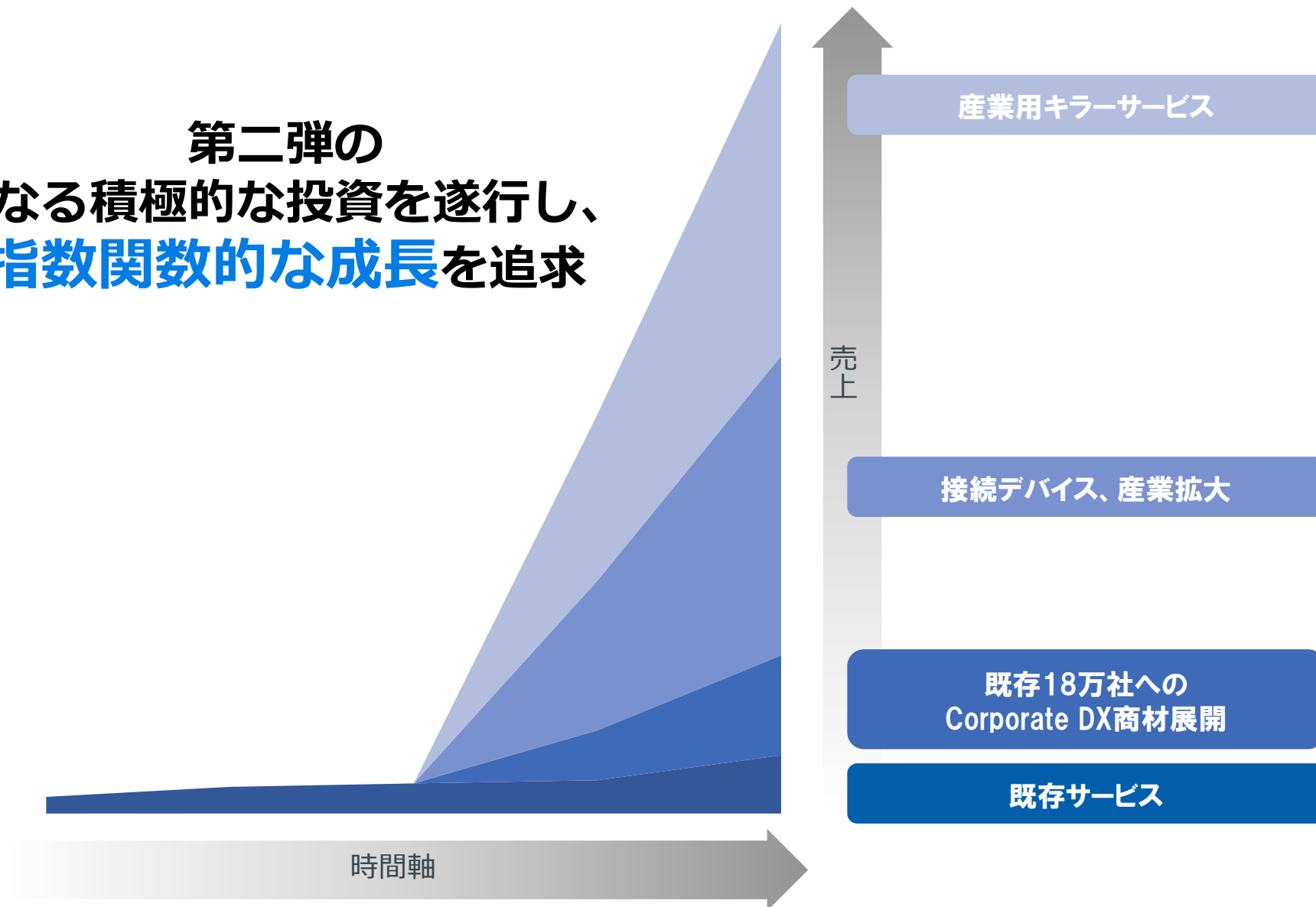
## TAM160兆円市場に向け必要となる主な投資とその用途

- 1) OO×ITの更なる推進による接続デバイス、産業拡大に向けた投資
- 2) 産業用キラーサービス開発に向けた投資
- 3) 18万社の顧客基盤へのCorporate DX新サービス開発に向けた投資
- 4) 上記を実現するためのAI/IoTプラットフォームCloud IoT OSへの投資
- 5) 上記を実現する優秀な人材への更なる投資

TAM160兆円の市場に向けて

利益を確保しながらも**積極的な成長投資**を継続

第二弾の  
更なる積極的な投資を遂行し、  
**指数関数的な成長**を追求



# 第4次産業革命の中心的な企業になる

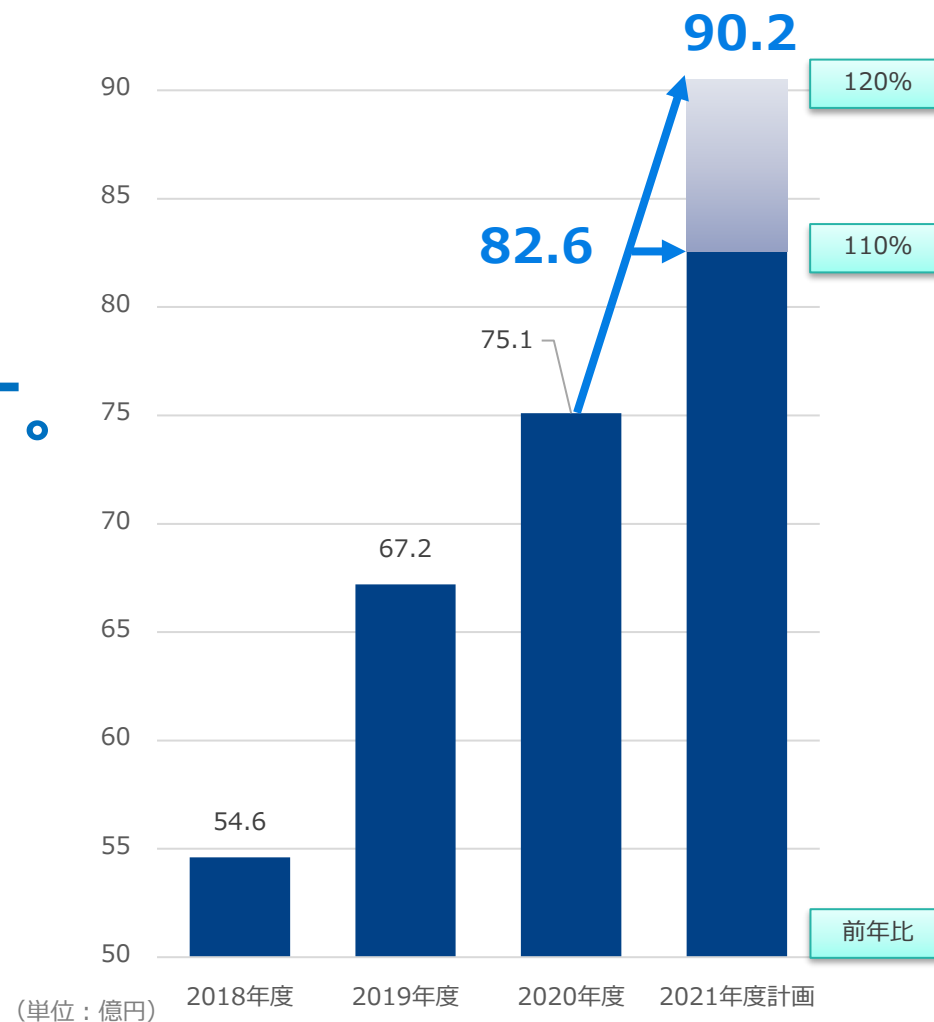
# 2022年3月期 業績予想

.....

創業来22期連続となる  
過去最高売上高を目指します。

90.2億円～82.6億円  
(前年比110%～120%)  
の範囲で計画

## 売上予想



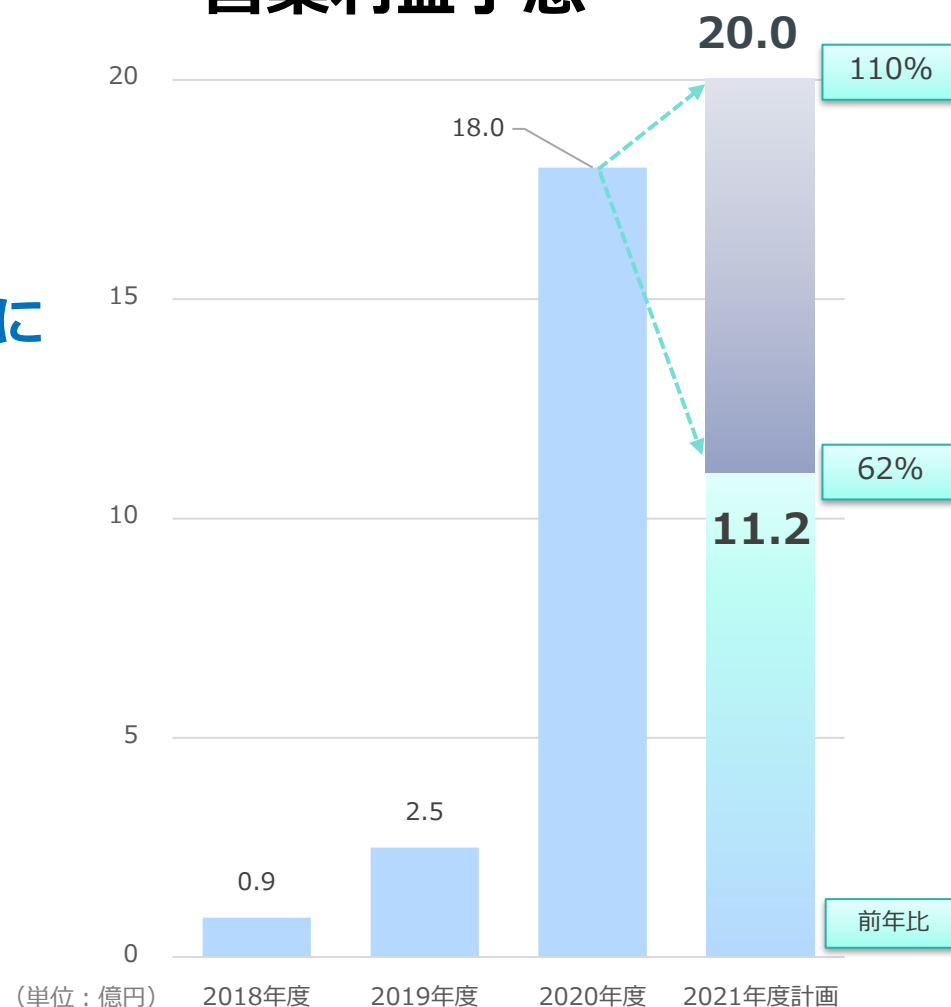
2018年度は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。



第4次産業革命の中心的な企業になるために  
利益を確保しながらも  
積極的な成長投資を継続いたします。

営業利益20.0億円～11.2億円  
(営業利益率22%～13%)  
(前年比110%～62%)  
の範囲で計画

## 営業利益予想



2018年度は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

第4次産業革命の中心的な企業になるために、**TAM160兆円市場**の開拓に向けた**積極的な成長投資**を実施いたします。

売上については、  
創業来**22期連続**となる過去**最高売上高**を目指します。

利益については、  
積極的な成長投資を実施しつつ  
**13%～20%の営業利益率**を目指します。



# Appendix

---

# 会社概要

---

- 商号：株式会社**オプティム**（東京証券取引所市場第一部：3694）
- 設立：2000年
- オフィス：
  - OPTiM TOKYO（東京本社）
  - OPTiM SAGA（佐賀本店：佐賀大学内）
  - OPTiM FUKUOKA
  - OPTiM KOBE
- 代表者：菅谷俊二（佐賀大学農学部招聘教授）
- 総スタッフ数：585名  
（2021年4月現在：派遣・契約・バイト(フルタイム換算値) 含む）
  - 平均年齢：32.8歳
- 主要株主
  - 菅谷 俊二、東日本電信電話株式会社、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社（旧 富士ゼロックス株式会社）等



東京本社



佐賀本店

## ネットを空気に変える

株式会社オプティム 代表取締役社長

菅谷 俊二



当社は、「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、いまだに利用にあたりITリテラシーを必要とする現状を変え、インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとして、創業以来すべての人々が等しくインターネットのもたらす、創造性・便利さを享受出来るようサポートするプロダクトの開発に尽力しております。

**知財戦略に基づく豊富な技術力**、及び、**事業創造力**を背景に、常に革新的なサービスを提供し新しい市場を開拓してきました。また、**AI・IoT・Big Dataのマーケットリーダー**として、各産業のトッププレイヤーと強固な**ビジネスディベロップメント**を推進しております。**国内市場ではシェアNo1のサービス**を擁し、**豊富なライセンス収益**を基盤としたビジネスモデルを確立しております。

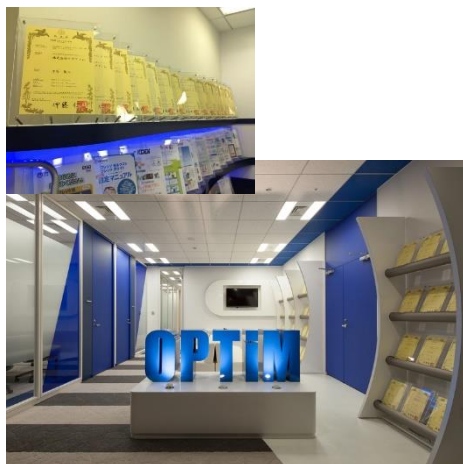
特徴（強み）	内容
1. 豊富な技術的発想力	国内初・世界初を実現する特許に基づいた機能・製品・サービス・ビジネスモデル開発（当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位 <sup>※1</sup> を受賞）
2. 高度な技術力	得たライセンス収益を次世代IT技術分野に研究開発投資を行い獲得した、AI・IoT・Cloud・Security・Robotics分野での高い技術力により、新しい着想を実現
3. サービス企画・開発・運用力	新しい着想で実現した製品をパッケージサービスとして汎用化する企画力。サービスを顧客のニーズに合致した機能、価格、サービスモデルを企画、設計し、開発、運用を行う能力
4. 強固なライセンス収益	国内市場シェアNo1のMDMサービスである「Optimal Biz」、国内最大数のユーザ数を持つ「Optimal Remote」を始めとしたサブスクリプションビジネス（料金を支払うことにより一定期間サービスを受けられるモデル）による強固なライセンス収益
5. コンサルティング力	パートナー企業の市場環境を理解し、パートナー企業と共にオプティムのテクノロジーを活用したイノベーション、新サービスを創造する高いコンサルティング能力
6. 事業創造力	新しい製品・サービスを各産業リーダ企業、通信キャリア、プリンタメーカーなど、多くのパートナーと提携し事業化、あるいは事業を大規模に展開する事業創造力

※1 出典：2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査

※2 出典：ミック経済研究所 2019年9月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より、2018年度実績値調査結果のうち、「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計し、合計19部門で2018年度シェアNo.1の評価を獲得。富士キメラ総研 「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」よりモバイルセキュリティ管理ツール市場における市場占有率、「数量」「金額」の割合。テクノ・システム・リサーチ 「2018-2019年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」よりモバイル管理市場 2018年実績。



- **豊富な知的財産**を保有
  - 当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位を受賞（2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査）
- **経済産業省特許庁**から、平成30年4月に「**知財功労賞**」を授与
- 新規事業分野への参入、事業の多角化、世界展開等、あらゆる局面で知財の有効活用を意識したイノベーション活動を展開
- ピンポイント農薬散布テクノロジーの特許が、令和元年度九州地方発明表彰において、「**文部科学大臣賞**」を受賞



（ご参考：知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞のポイントより抜粋）  
オプティムは、常に新しい技術を生み出し、取り込みながら研究開発を行い、その成果を活用した製品・サービス、さらにはビジネスモデルで取得した特許権が差別化を生み出すことにより、事業の競争優位性を確保している。

皆さんの身近なところでも、当社のテクノロジーが使われています。  
AIが自動でインターネット接続を行います



スマートフォンやパソコンをお使いのお客様は、  
コールセンターから、遠隔でサポートを受けることができます



利用者数  
国内No.1

au = SoftBank

FLET'S 光

フレッツ 光

BBIQ

SBI SBI証券



## Optimal Bizは、スマートフォンやタブレットの ビジネス活用における幅広い課題を解決

### IT管理者の負担を削減する



セキュリティリスク、  
情報漏えいの危険

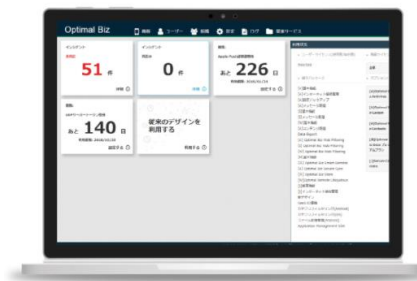


業務外利用による  
業務効率の低下



各種デバイスの管理の負担  
大量端末の管理のコスト

### パソコンもクラウドで一元管理



法人向けクラウドデバイス管理ソリューションである「Optimal Biz」は、さまざまなOSを搭載したネットワークデバイスを、一元的にマネジメントできることをコンセプトとしたサービスになっております。法人向けスマートフォン、タブレット、パソコン、サーバーを管理対象デバイスとし、iOS、Android、Windows、Macを管理対象OSとし、クラウド上からマルチデバイス、マルチキャリア、マルチOSで一元管理できます。デバイスの〈紛失盗難対策〉、〈不正利用防止〉、〈資産管理〉、〈初期OS環境設定〉を行うことができ、デバイス導入に必須のプラットフォームとなりつつあります。

## 主要販売パートナー

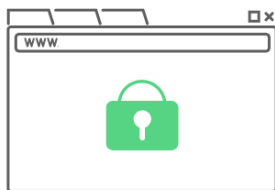


「Optimal Biz」は、**販売パートナーを通じての提供**や、**OEM提供による販売パートナーのサービスとして提供**されており、当社グループは端末数に応じたライセンス料を受領しております。当社グループでは、OEM提供の際は、販売パートナーの要望に応じたカスタマイズも行っております。

1 端末エンドユーザー標準価格：300円/月

## オプション・サービス

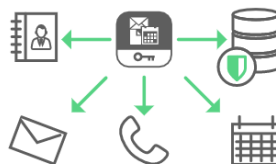
Optimal Biz Web Filtering  
powered by i-Filter



Optimal Biz Antivirus  
ウイルス対策オプション



Optimal Biz Secure Sync  
リモートアクセスサービス



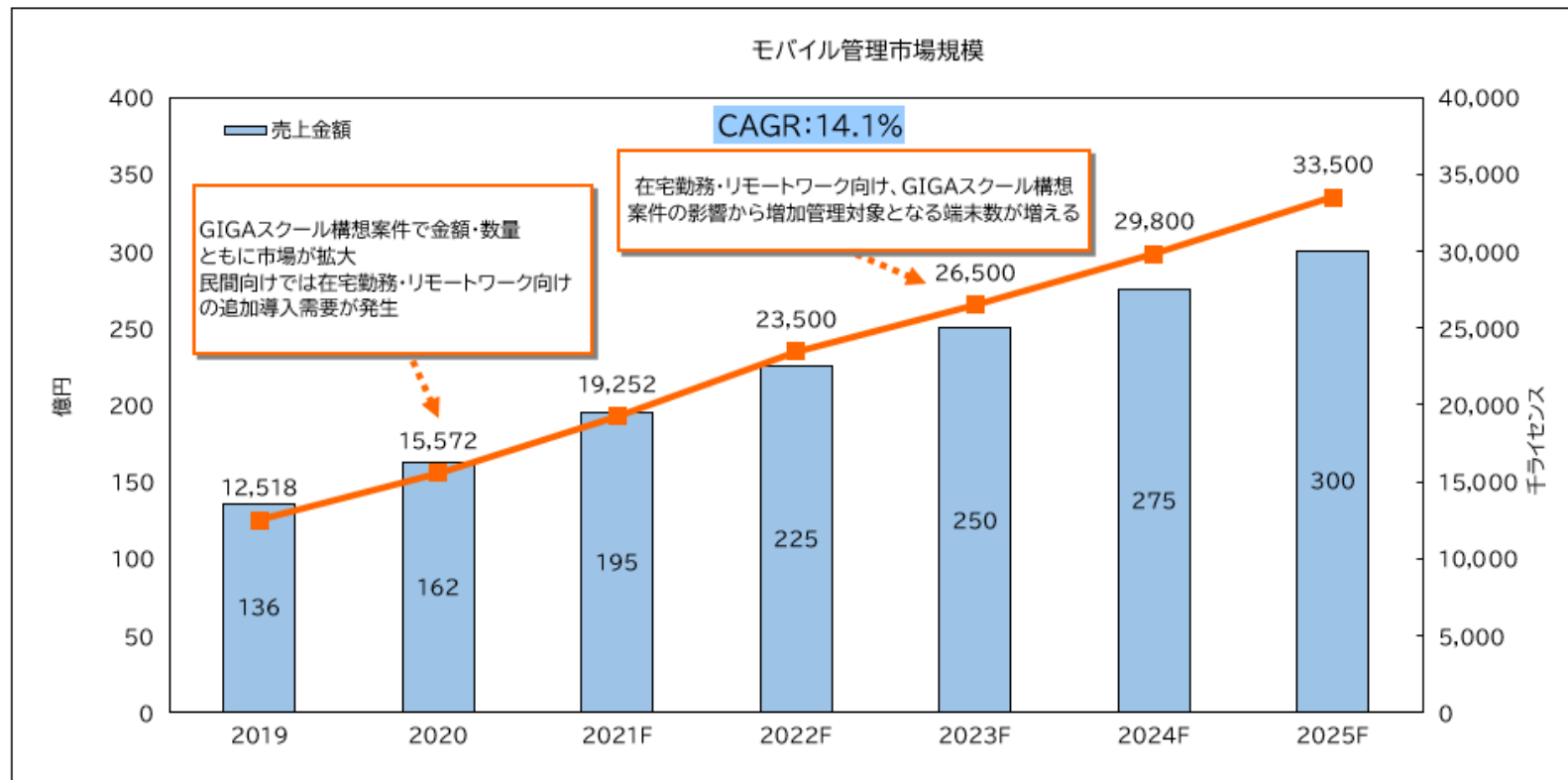
「Optimal Biz」は、ウェブフィルタリングや、ウイルス対策、MAM、MCM等、さまざまな機能を**オプションとして提供**しており、導入企業は必要とする機能のみのライセンス料を支払うことで、選択して導入することができます。



# オフィス業務のデジタル化でより高度なセキュリティの運用を求められる時代に Optimal Biz (MDM) 市場の成長続く

MDM（モバイルデバイスマネジメント）市場は、今後も、堅調な成長が見込まれている。※1  
**オプティムは 市場の30%~40%のシェア**を占めデファクトスタンダードを獲得している。

モバイル管理市場トレンド



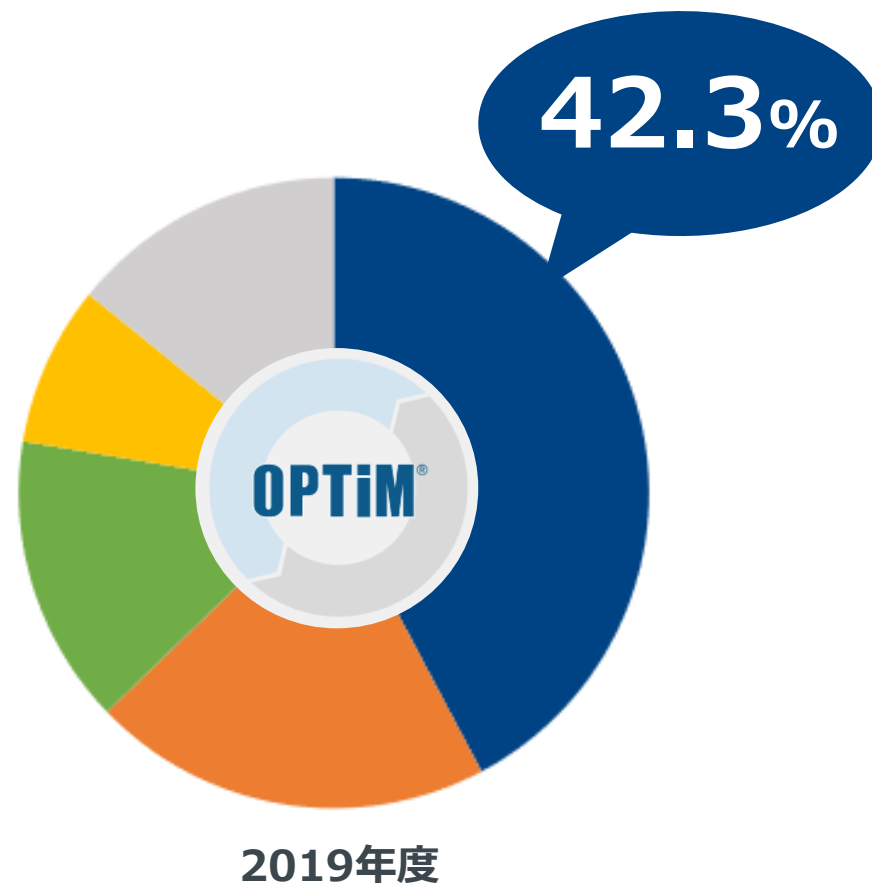
※1 テクノ・システム・リサーチ、2021年3月発刊、「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」



国内シェア **No.1**※1

累計**180,000社**以上※2の

圧倒的な導入実績



※1 ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」SaaS・ASP型MDM出荷ID数

※2 2019年6月25日、当社集計

# Optimal Biz : 国内で最も評価されているMDM

OPTiM®

国内外の著名な調査会社4社が発刊した調査レポートにて、  
合計**34部門**でNo.1の評価を獲得しています



出典：  
IDC Japan  
テクノ・システム・リサーチ  
富士キメラ総研

「国内システム／サービス管理ソフトウェア市場シェア、2019年：SaaS市場の成長の本格化」 #JPJ45702920  
「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」、2021年1月発行、II.市場動向編 2.モバイル管理市場  
「2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧《市場編》」、2020年11月発行、  
2019年度国内MDM・EMM市場＜数量＞・2019年度国内MDM・EMM市場＜金額＞。  
デロイト トーマツミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2020年度版」より、2020年10月発行、2019年度実績値調査結果の  
うち、「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計。



# ますます広がるスマートフォン、タブレットの業務での活用



①GIGAスクール構想



②遠隔医療サービス



③テレワーク



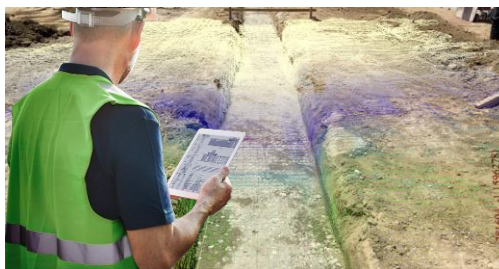
④コロナ対策サービス



⑤店舗の混雑状況確認



⑥キャッシュレス決済

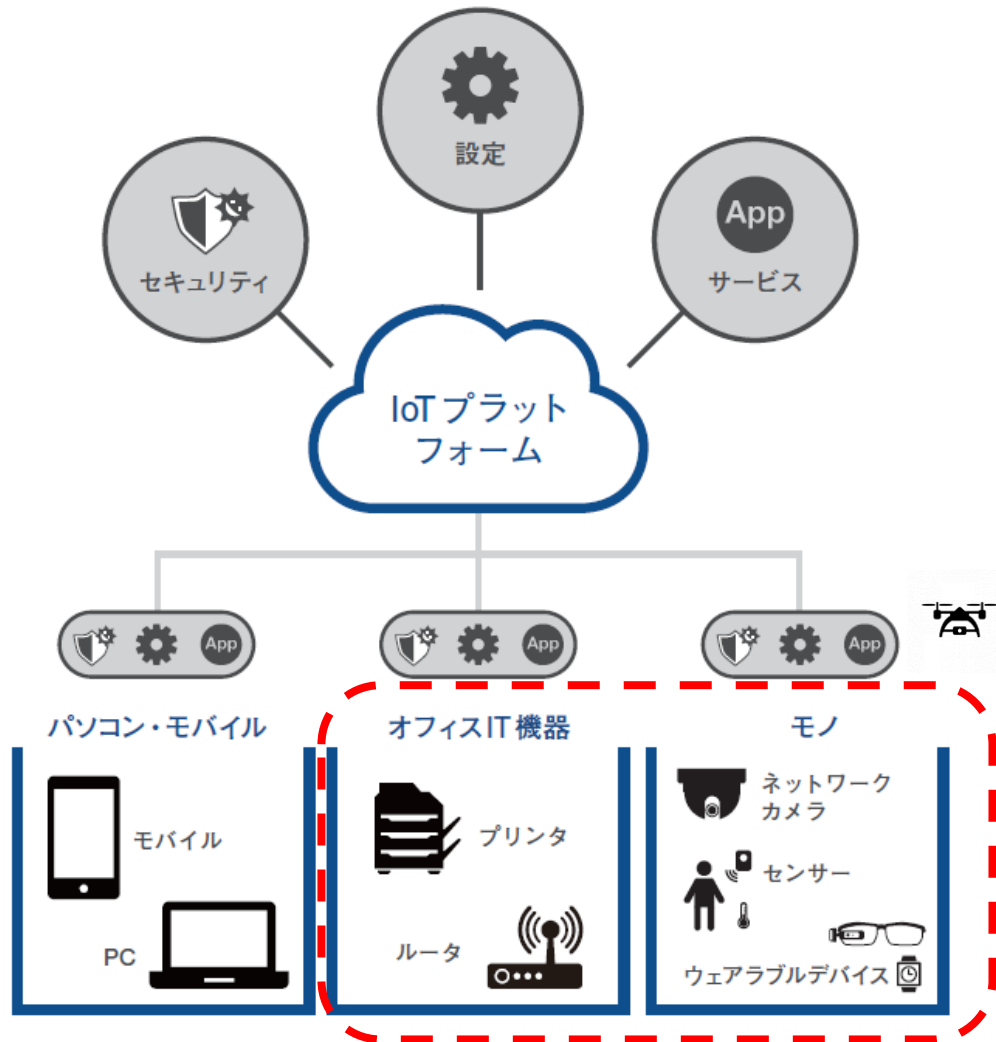


⑦建設・土木・農業などでの活用



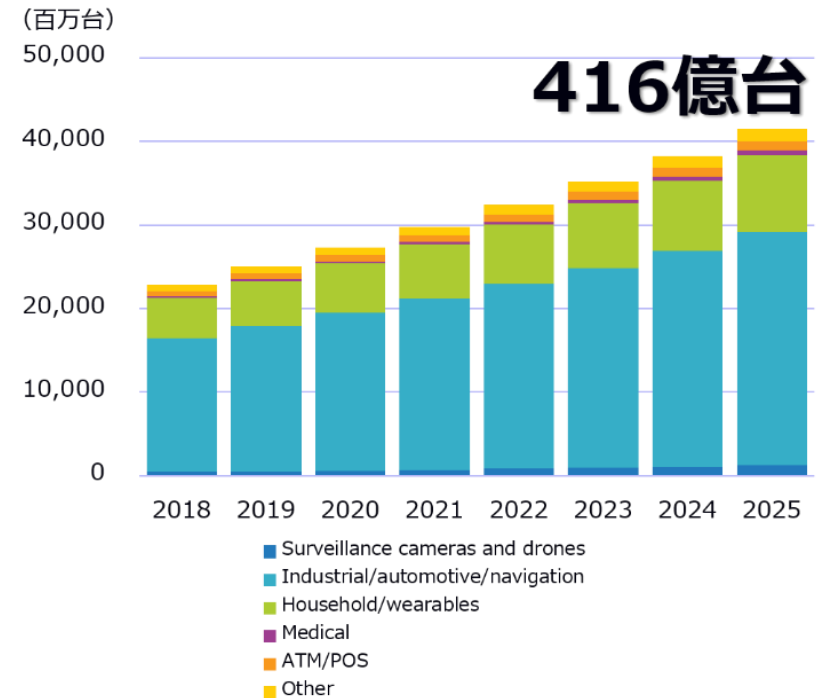
⑧業務遠隔サポート

# IoT（モノのインターネット）プラットフォームの提供



**IoT（モノのインターネット）が急速に拡大中**

世界 IoT機器インストールベース予測



出典 IDC 2019 年 国内データエコシステム / Data as a Service に関わるプレイヤー分析：IoT 関連事業者を中心に

<https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ45371219>

# IoT プラットフォームからAI・IoT プラットフォームの提供

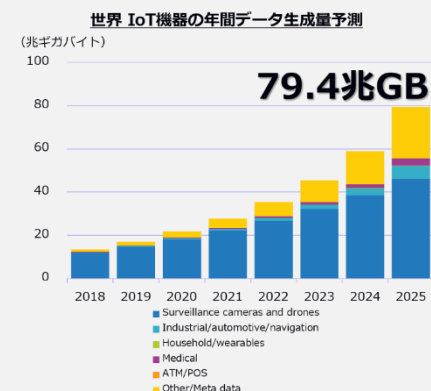
416億台のIoTデバイスが約80ZBのデータを生成、IDCが2025年を予測  
(ZB=1GBの約1兆倍)



79.4兆GB

有益な情報を導くためにAI利用が不可欠に

IoT（モノのインターネット）の普及に伴う爆発的なデータ量の増加



出典 IDC 2019 年 国内データエコシステム／ Data as a Service に関わるプレイヤー分析：IoT 関連事業者を中心に <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJP45371219>

# AI(人工知能) のパッケージサービス提供

**OPTiM AI Camera Enterprise**   **OPTiM AI Camera**



**OPTiM AI Camera Mobile**

スマホ・タブレットを使って始められる  
AI画像解析サービス



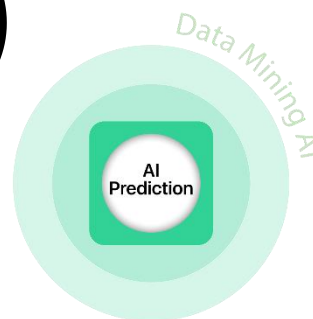
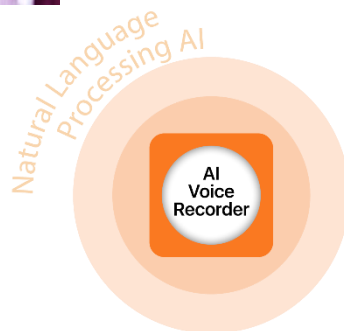
**OPTiM AI Voice Recorder**



**OPTiM AI Guide**



**Optimal Second Sight**



**OPTiM AI Research**



**OPTiM AI Store**



**OPTiM AI Signage**



**OPTiM AI Marker**



**OPTiM AI Creator**





OPTiMのAIソリューションが5部門で市場シェアNo.1獲得 ※1



**OPTiM® AI Camera**



**OPTiM® AI Camera Enterprise**



**Agri Field Manager**

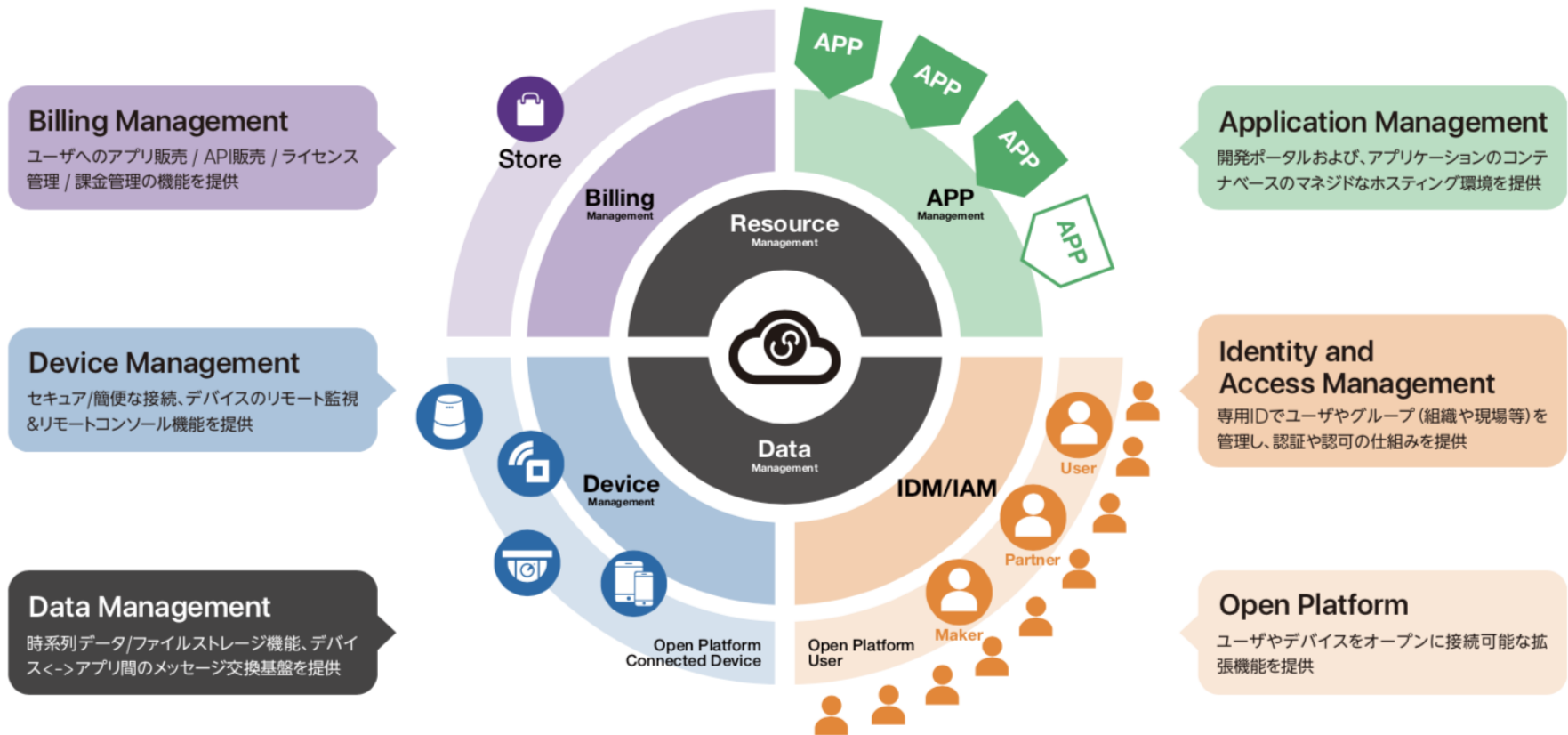


**OPTiM Cloud IoT OS**

※1 デロイト トーマツ ミック経済研究所「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2020年度版】

## プラットフォームのためのプラットフォーム

AI・IoTプラットフォームとしてエコシステムを形成するための一連の機能を具備





各産業とIT（AI・IoTなど）を組み合わせる  
「〇〇×IT」により  
全ての産業を第4次産業革命型産業へと  
再発明してまいります

# AI/IoTプラットフォームを活用してあらゆる産業を変革する企業に (OO×ITビジョンに基づく提携、合併戦略の実行)

OPTiM®

農業

建設・土木



エネルギー

金融

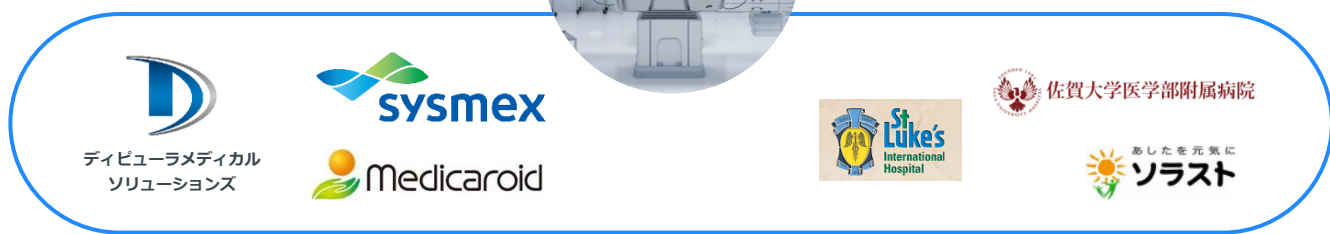


小売

製造・ロボット



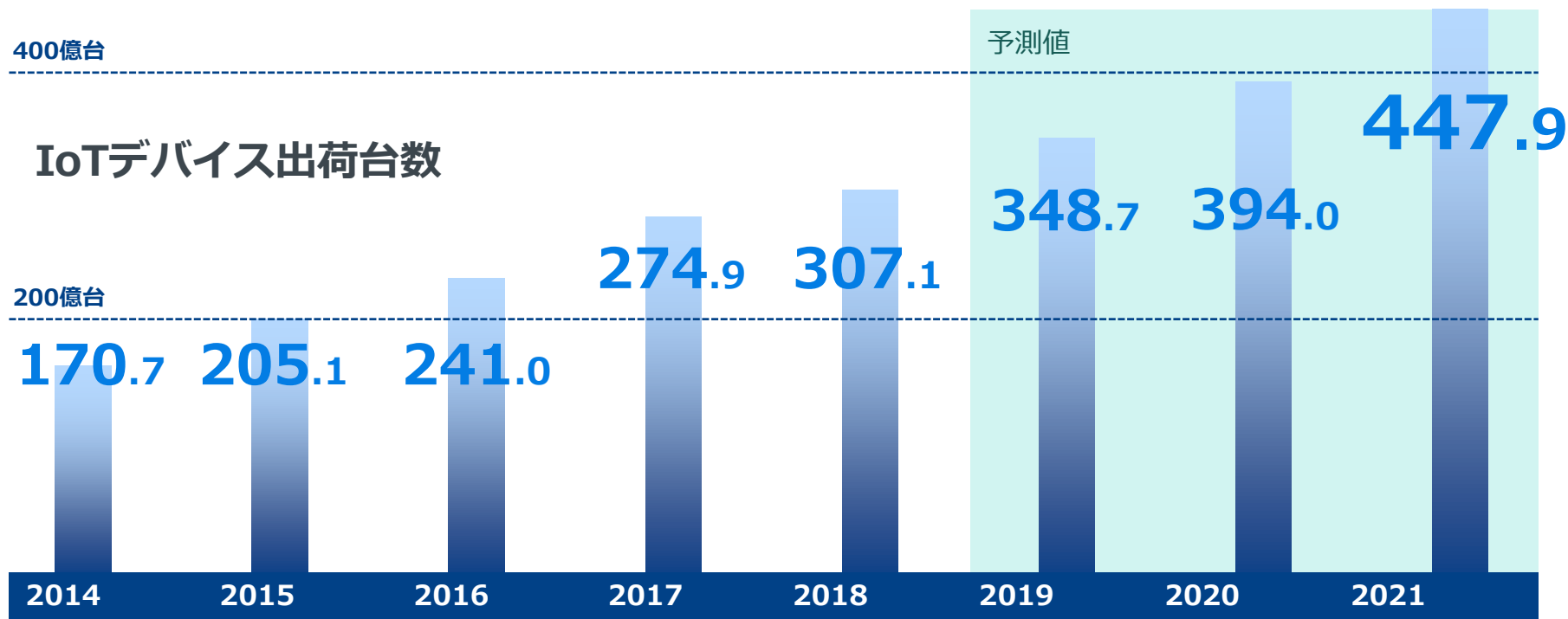
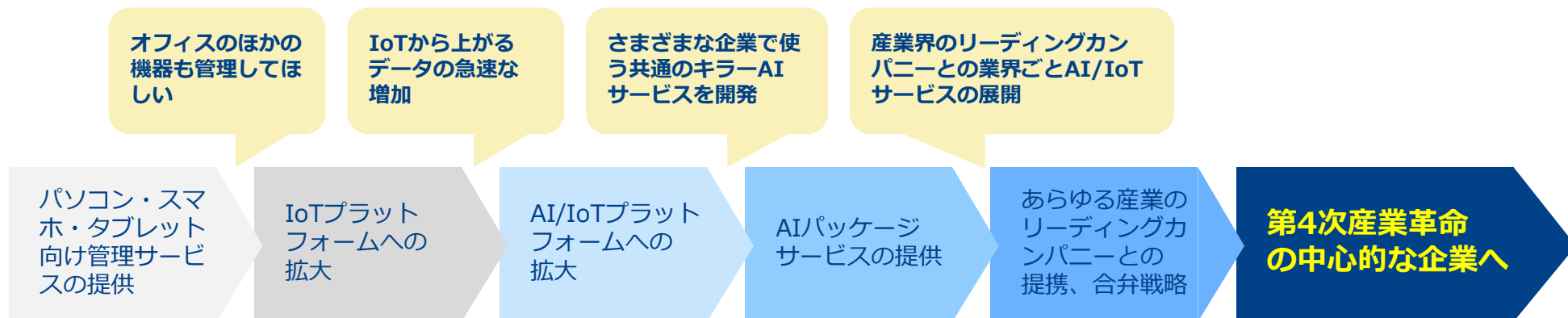
医療





# PC・モバイル管理からAI・IoTプラットフォームまでの経緯

OPTiM®



出典 総務省令和元年版 情報通信白書 第1部 第2節 デジタル経済を支えるICTの動向、(2) IoTデバイスの急速な普及、図表1-2-1-3 世界のIoTデバイス数の推移及び予測より。: <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/html/nd112120.html>

# 第4次産業革命の中心的な企業になる

## 2021年3月期 主要活動実績

.....

IDC Japanの調査レポートにおいて、  
2019年国内EMMソフトウェア市場  
売上シェアNo.1※1を獲得



デロイト トーマツ ミック経済研究所発刊の  
調査レポートにおいて、2019年度MDM・EMM市  
場No.1※2を獲得し、さらにシェアを拡大



富士キメラ総研発刊の調査資料において、  
5年連続※3国内MDM・EMM市場で  
シェアNo.1※4を達成



テクノ・システム・リサーチの調査レポートにおいて、  
19部門※5中12の部門でシェアNo.1※6を獲得



※1 出典：IDC Japan発刊、「国内システム／サービス管理ソフトウェア市場シェア、2019年：SaaS市場の成長の本格化」#JPJ45702920より  
※2 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所 2020年10月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2020年度版」より  
※3 出典：2016年11月発刊、「2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、2017年9月発刊、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、  
2018年10月発刊、「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、2019年10月発刊、「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（市場編）」、  
2020年11月発刊、「2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（市場編）」  
※4 出典：富士キメラ総研 2020年11月発刊、「2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（市場編）」より  
※5 出典：「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」の「Ⅱ.市場動向編」、「2.モバイル管理市場」において、発刊元のテクノ・システム・リサーチに  
より発表された項目のうち、数値や結果として発表されているものを部門としてオプティムが定義し、集計した総数  
※6 出典：テクノ・システム・リサーチ2021年3月発刊、「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」の「Ⅱ.市場動向編」、「2.モバイル管理市場」より

2020.11.18, 2020.12.21, 2021.01.29, 2021.04.09プレスリリース



テレワーク環境下でのマネジメントを支援

## Optimal Biz Telework

New Normal Work Style

コミュニケーションサポート    業務サポート    生産性向上サポート

Optimal Biz Teleworkが、デジタルな情報伝達/管理を支援し  
真にクリエイティブなマネジメント環境を実現します

Optimal Biz Teleworkは単体でもご導入いただけます。  
Optimal Bizと併せて導入いただくことでさらに様々な機能が利用可能となります。

## 大幅なアップデートを実施

- 「コミュニケーションサポート」用チャットボットを各プラットフォーム向けに追加
- 従業員の体調不良報告、休暇通知の表示機能
- アプリケーション利用状況等をもとにした、業務時間分類機能の追加

## バージョンアップによる機能追加

- 権限管理機能（グループ単位）
- アラート設定機能（グループ単位）
- 始業/終業 Push 機能（Android/iOS 向け）
- 目標設定/自己評価
- “集中度”可視化機能
- 過去情報表示機能

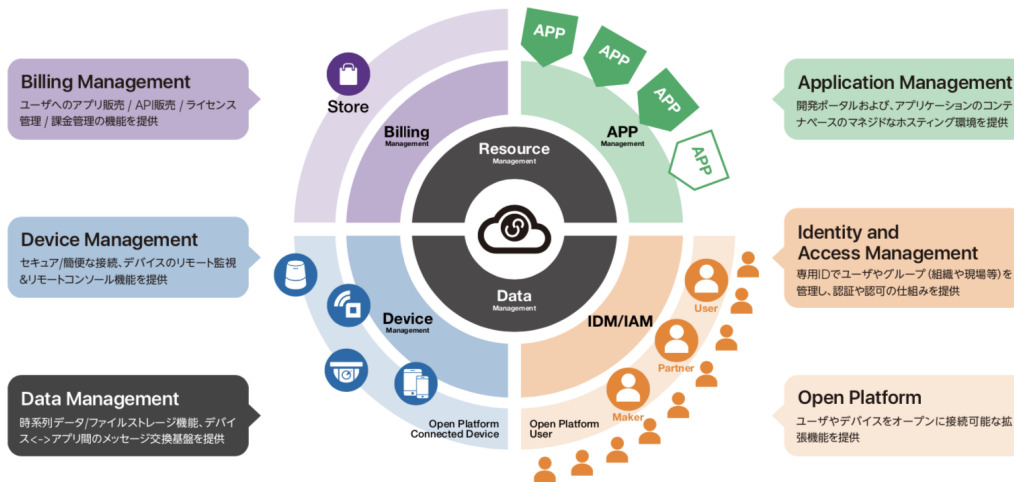
## 新規販売パートナーでの販売開始

- 富士ゼロックス株式会社
- 兼松コミュニケーションズ株式会社
- 株式会社システナ
- 株式会社インテック

2020.09.15, 2020.12.02, 2021.02.25, 2021.03.26, 2021.04.22プレスリリース

## AI・IoTプラットフォームサービス「OPTiM Cloud IoT OS」 プラットフォームのためのプラットフォーム

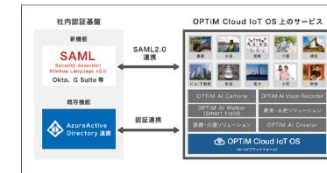
### 無償トライアル提供開始



～同時に最新バージョンアップにより企業認証基盤連携機能などをリリース～

### バージョンアップを実施

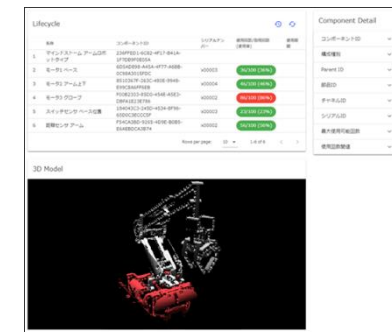
#### 認証利便性・セキュリティ強化



#### IoTデータ管理機能の強化： アプリ活用イメージ



#### デバイスライフサイクル管理APIを活用した アプリ活用イメージ



## 新ラインアップを発表

～「withコロナソリューション」で店舗・施設の運営を強力にサポート～

- 「OPTiM AI Camera」ラインアップのAI画像解析サービス名称を変更

- 「OPTiM AI Camera」ラインアップにAI統合運用環境サービスを追加

低価格で簡単に利用可能な「OPTiM AI Camera Lite」を  
「OPTiM AI Camera」としてオプティムのAI画像解析のメインサービスに

**OPTiM AI Camera Lite**  
月額2,980円（税抜）～

**OPTiM AI Camera**  
月額2,980円（税抜）～

**OPTiM AI Camera**  
月額15,000円（税抜）～

**OPTiM AI Camera Enterprise**  
月額15,000円（税抜）～

**OPTiM AI Camera Mobile**  
月額1,950円（税込）

※「OPTiM AI Camera Mobile」は名称変更いたしません





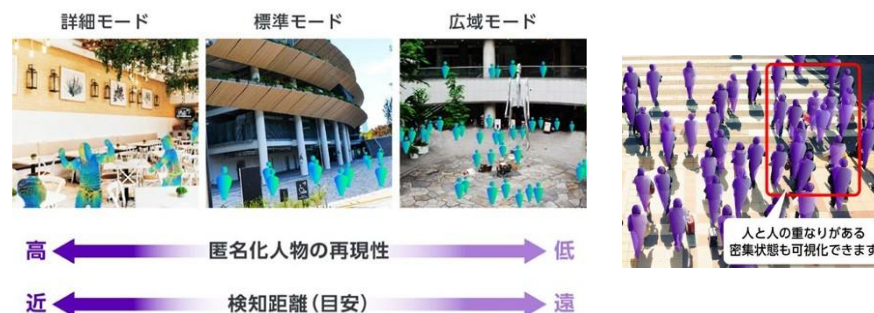
## withコロナ対応ソリューションの販売開始

～飲食店、小売店、公共施設、オフィスなどの  
コロナ対策管理をAIで効率的に～



## 広域モードとAPI連携の機能追加 により、利用シーンが拡大

AIモードに「広域モード」が追加



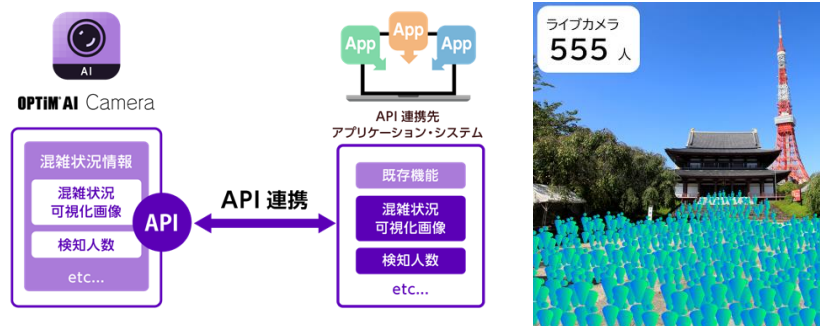
## 新規AIモードや混雑予測などの機能を 新たに追加し、大幅アップデート

混雑予測機能

運用管理機能（営業時間外  
設定、カメラ無通信検知）



API連携先アプリケーション・システムでの混雑状況表示例（イメージ）





## ぐるなびの「飲食店LIVEカメラ」に、新型コロナウイルスの感染抑止サービスとして「OPTiM AI Camera」のWithコロナソリューションを提供



## 「OPTiM AI Camera」活用事例を公開

～「withコロナソリューション」で店舗・施設の運営を強かにサポート～

- ・ 大塚商会：社員食堂の混雑状況が見える化
- ・ 京都パープルサンガ：「京都サンガF.C.」アプリでリアルタイムに混雑状況をお知らせ
- ・ 福岡市内：「多目的 A I カメラサービス」の実証実験
- ・ 「みやざきスポーツ＆健康フェスタ2020」：混雑可視化機能（混雑状況匿名化表示）を提供

AIやドローンを使い、  
農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米  
「スマート米2021」、2020年度産新米の販売を開始



新たに兵庫県産「コシヒカリ」、石川県産「コシヒカリ」、  
福島県産「コシヒカリ」・「天のつば」をラインアップに追加、  
「ピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー」により、  
残留農薬検査不検出を実現

オプティムとルートレック・ネットワークス、  
AI・IoTを活用したスマート農業分野で資本業務提携

## OPTiM®

## ROUTREK NETWORKS

＜提携による取り組み内容＞

1. ルートレックが提供する「ゼロアグリ」とオプティムが提供する圃場管理サービス「Agri Field Manager」及び関連するAI、IoT技術群を連携させ、生育最適化かん水技術および収穫時期制御技術を実現するシステムの立案、共同開発、実証
2. オプティムが提供するプラットフォームサービス「Agri Earth (Powered by OPTiM Cloud IoT OS)」を基盤とした農業バリューチェーン全体のデジタル化とエコシステムの構築
3. 東南アジア地域における共同マーケティング

## ドローン分野における新会社 「株式会社NTT e-Drone Technology」 設立及び事業開始

～持続可能な社会の実現にむけてドローンの社会実装を推進～

背景と目的：現在、ドローンビジネス市場は急速な拡大傾向にあり、各産業分野においてドローンの活用による活性化が期待されています。こうした中、NTT東日本とオプティムとワールドリンクは、合併会社を設立し各社の強みを持ち寄ることで、持続可能な地域社会づくりや地域経済及び産業の活性化に資するドローンの社会実装を推進していきます

2020.06.24, 2020.10.22, 2021.01.18プレスリリース

# シスメックスとオプティム、 「ディピューラメディカルソリューションズ株式会社」 を共同設立

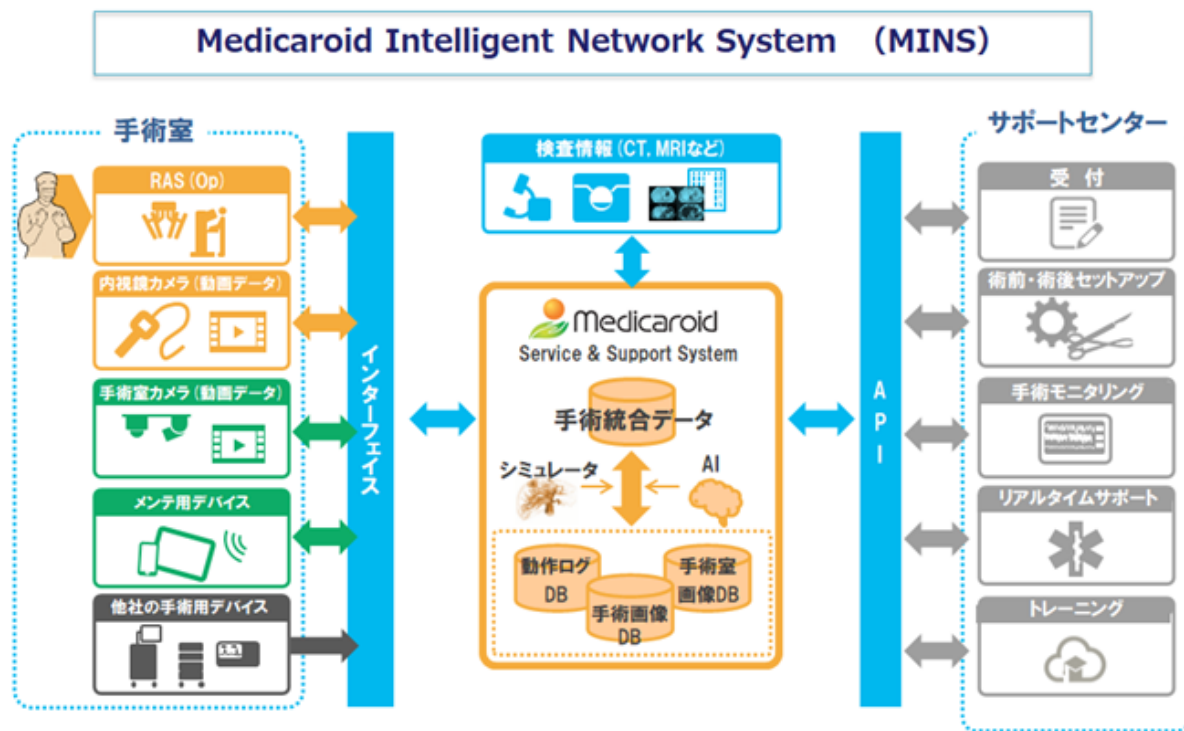


医療用 AI・IoT オープンプラットフォームおよび  
デジタルトランスフォーメーション・ソリューションの  
企画・開発・運営会社を共同設立し、活動を開始

本合併会社の社名には、デジタル技術や医療データを用い、個人と医療をつなぐ架け橋となるソリューションを提供することへの思いを込めており、これまで分断されていた医療情報をシームレスに繋ぐための医療用 AI・IoT プラットフォームと、科学的根拠に基づいたデジタル医療ソリューションの開発およびその運営を事業として行います。

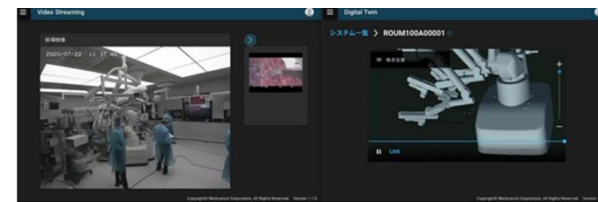
# 手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」用 ネットワークサポートシステム「MINS (Medicaroid Intelligent Network System)」 を共同開発

～手術支援ロボットから得られるあらゆるデータを AI が解析可能に～



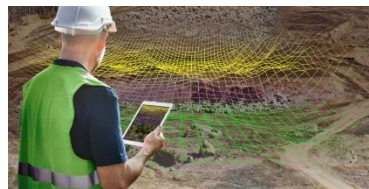
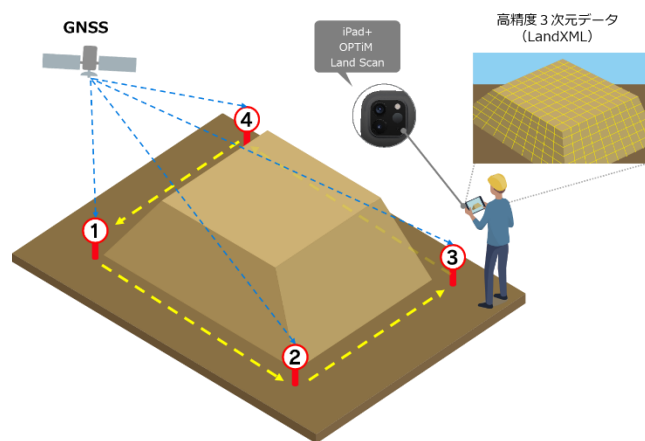
MINSでは第一弾のサービスとして以下のリモートサポートを提供します。

1. ログデータの収集・蓄積
2. 映像配信・閲覧
3. ロボットの動きを再現



# iPhone Pro、iPad Proを使って誰でも簡単に高精度 3次元測量ができるアプリ、 「OPTiM Geo Scan」を正式提供開始

～測量時間の短縮や人件費の削減、技術者不足問題を解決～



iPhoneおよびiPadによる点群プレビュー



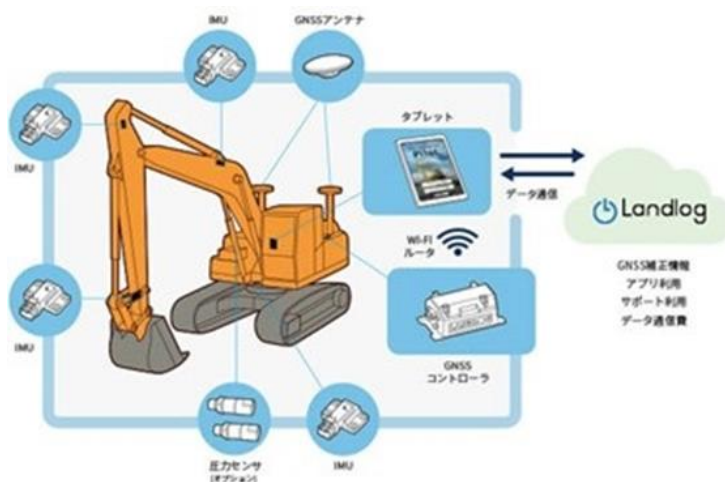
## 「OPTiM Geo Scan」の特長

1. 一人で手軽に測量が可能
2. 測量業務の短縮が可能
3. 誰でも高精度な測量が可能
4. ICT土工の実現

(※特許出願中)

2021.05.12プレスリリース

## スマートコンストラクション・レトロフィットキットや AI・IoTを活用した建設向けDXソリューションのマーケティングを行う 「株式会社ランドログマーケティング」を設立



■ 「スマートコンストラクション・レトロフィットキット」



■ 「スマートコンストラクション・ローバー」

### 事業内容

- ・ 建設生産プロセスの生産性を向上させる最新のデジタルデバイス・ソリューションの提供
- ・ 建設DXに関する総合商社機能の提供
- ・ 建設DXに関するコンサルティングサービスの提供
- ・ その他、建設業界の発展・貢献に必要なAI・IoTサービスの提供

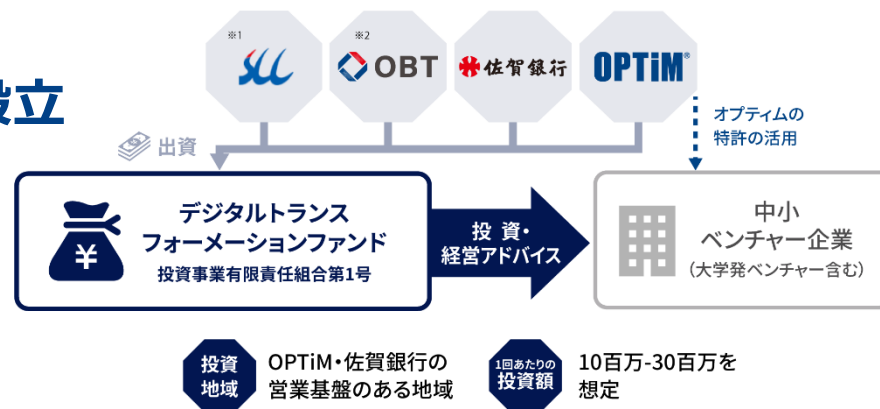
## 佐賀銀行と地銀・地域DX等を推進する、合併会社 「オプティム・バンクテクノロジー株式会社」の事業開始

### <事業内容>

1. 地銀DX：金融ソリューションなどを開発し、全国の金融機関などへ販売
2. 地域DX：オプティムのAI・IoTソリューションやサービスの販売
3. 教育事業：AI・IoTを活用した人材教育（マネジメント・起業家教育を含む）
4. ファンド事業：  
オプティムが保有する知的財産を活用した起業支援および、オプティムの各種プラットフォームを活用したアプリケーション開発企業支援などのためのファンド運営

## オプティムと佐賀銀行、DXファンドを設立

企業への出資を通じて各業界の  
デジタルトランスフォーメーションの推進へ



※1 SCC株式会社佐賀キャピタル&コンサルティング  
※2 OBTオプティム・バンクテクノロジー株式会社



## KDDIとオプティム、AIとIoT活用の商品企画で 企業のDXを支援する合併会社「DXGoGo」を設立



近年、企業の規模や産業を問わず、デジタル技術を活用して生産性向上や事業変革、デジタルイノベーションを行うことが求められており、多くの企業がDXの取り組みを始めています。DXGoGoでは、KDDIおよびオプティム両社の強みを活かし、KDDIグループのお客さまの声を企画に反映させ、導入がしやすいAIやIoTを活用したDX商品・サービスの企画・提供を行います。さらに、新しいビジネスモデルを創出する企画と事業化を通じて、あらゆる産業分野のデジタル変革に貢献します。



## 「OPTiM Innovation2020」を開催

～今、感染拡大を防ぎながら、経済活動を活発化させるためAI・IoTができること～  
2020年10月26日（月）～27日（火）、オンラインにて開催



「OPTiM INNOVATION 2020」は、すぐにビジネス活用できるAI・IoTソリューションや、AI・IoTの最新活用事例などを紹介する2日間のオンラインイベントです。今般の新型コロナウイルスの影響により冷え込んでいるさまざまな分野の経済活動を活性化させるべく、本年は「今、感染拡大を防ぎながら、経済活動を活発化させるためにAI・IoTができること」をテーマとしてお届けします。

医療業界のデジタルトランスフォーメーションをテーマとした  
医療メディア



建設土木の未来をICTで変える建設土木メディア



AIの導入事例や導入効果の評価などリアルな声を発信、  
AIを用いたビジネス変革をサポートするメディア



2020.07.02、2020.07.20、2020.10.15プレスリリース  
2020.10.01プレスリリース

## サーモグラフィーと「OPTiM AI Camera」を利用した健康状態チェックシステム

特許番号：6618631（日本）

### 来訪者の健康チェック



来訪者検出、体温測定



室温測定

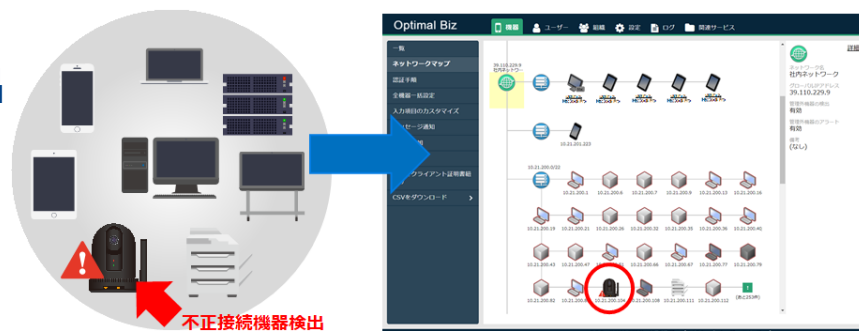
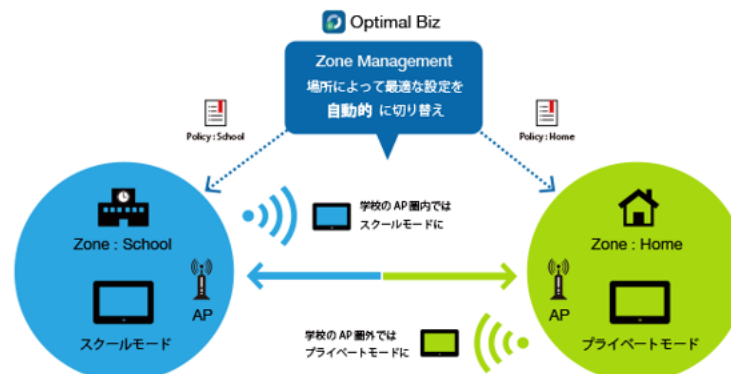
建物の入り口での、来訪者の健康チェックに利用。  
来訪者の体温を赤外線画像で測定して、健康状態を判定し、  
異常が疑われる人を検出。

## PCやIoT機器などのネットワーク接続機器を検出 Optimal Biz搭載特許、Tigerについて

特許番号：4855499（日本）、8301625（米）、  
2330512（仏・独・西・英）、10-1209014（韓）、102160042（中）

## 文部科学省推進の「GIGAスクール構想」と、 特許技術「Zone Management」搭載サービス 「Optimal Biz」について

特許番号：4914414、5976033（日本）／9462620（米国）／105025435（中国）



# 2021年3月期の〇〇xITの具体的な取組み

〇〇(業界)	発表時期	内容	提携先
農業	2020/6	AI・IoTを活用したスマート農業分野で「ルートレック・ネットワークス」と資本業務提携	ルートレック・ネットワークス
	2020/8	「固定翼ドローンによる補助者なし目視外飛行の実証実験」実施	農林水産省
	2020/10	AIやドローンを使い、農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米「スマート米2021」、2020年度産新米の販売を開始	
	2021/1	ドローン分野における新会社設立及び事業開始	NTT東日本、ワールドリンク
医療	2020/4	オンライン診療プラットフォームのOEM提供を発表	
	2020/4	全国のオンライン診療・電話診療対応の医療機関がマップ確認・リスト検索可能な「オンライン診療ポータル」を無償公開	
	2020/6	「ディピューラメディカルソリューションズ」を共同設立	シスメックス
	2020/7	医療メディア「Medical DX（メディカルディーエックス）」をオープン	
	2020/10	手術支援ロボットシステム「hinotori™サージカルロボットシステム」用ネットワークサポートシステム「MINS」を共同開発	メディカロイド、シスメックス
建設	2020/7	建設土木の未来をICTで変える建設土木メディア「デジコン」をオープン	
	2020/8	世界初、iPad Proを使って誰でも簡単に高精度3次元測量ができるアプリ、「OPTiM Land Scan」β版の無償提供開始	
	2020/10	スマートコンストラクション・レトロフィットキットやAI・IoTを活用した建設向けDXソリューションのマーケティングを行う「株式会社ランドログマーケティング」を設立	
金融	2020/7	地銀・地域DX等を推進する、合併会社「オブティム・バンクテクノロジーズ株式会社」の事業開始	佐賀銀行
	2020/9	オブティムと佐賀銀行、DXファンドを設立	佐賀銀行、オブティム・バンクテクノロジーズ